

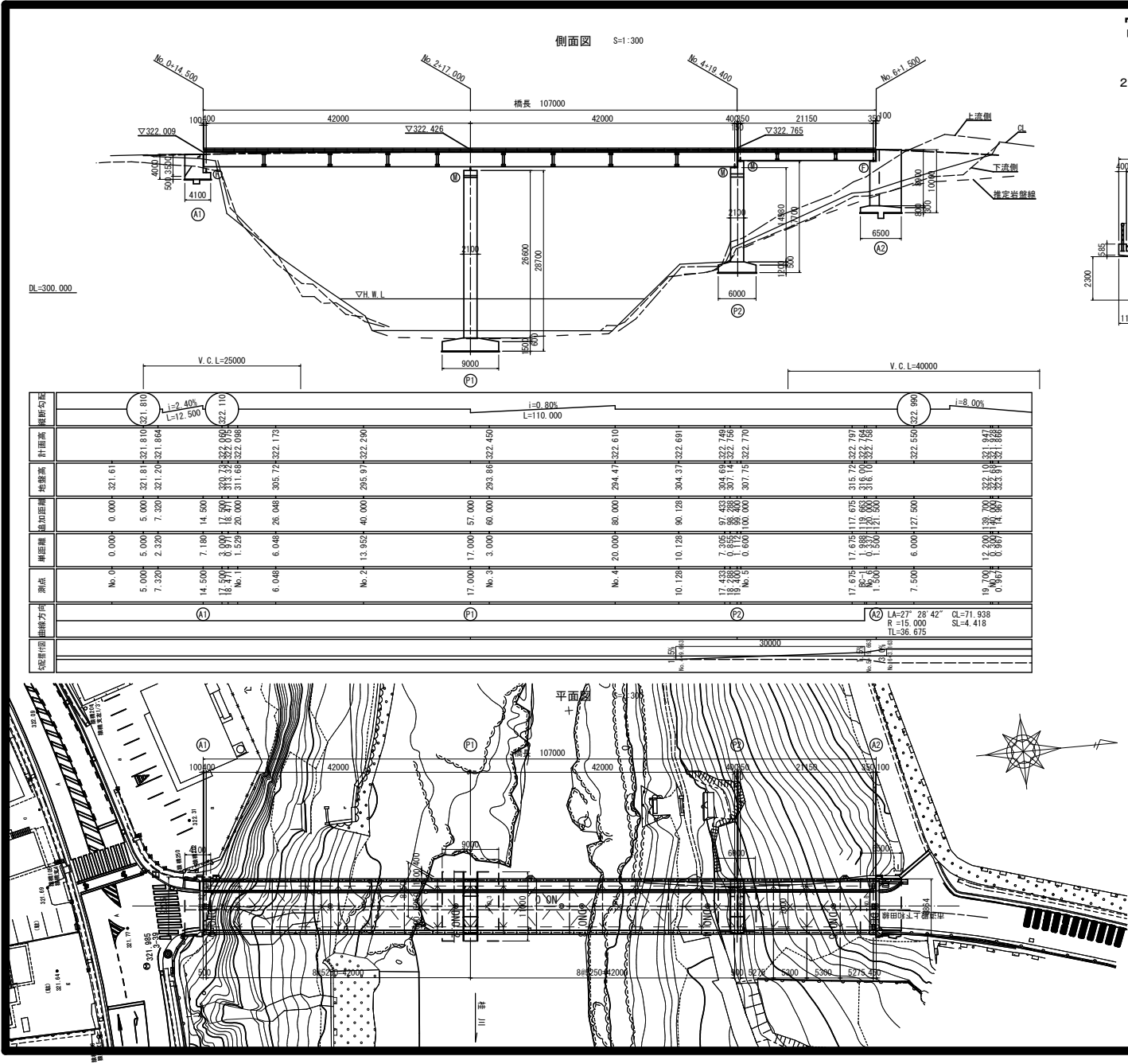
位置図 S=1:10000



実施

【宮下橋】

工事名	市道殿上下和田線（宮下橋）耐震補強工事		
図面名	位置図		
作成年月日	令和 年 月		
縮尺	図示	図面番号	/
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	大 月 市		

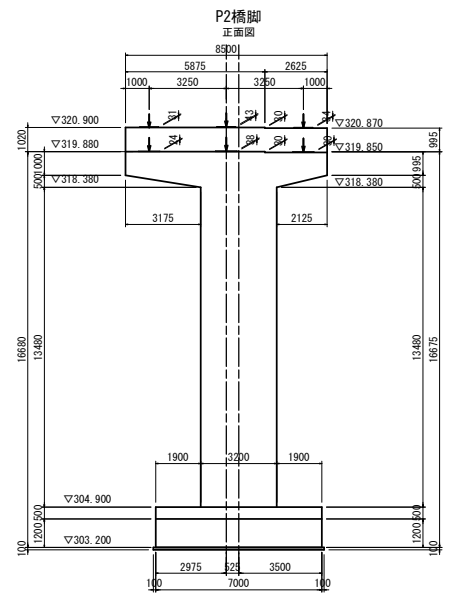
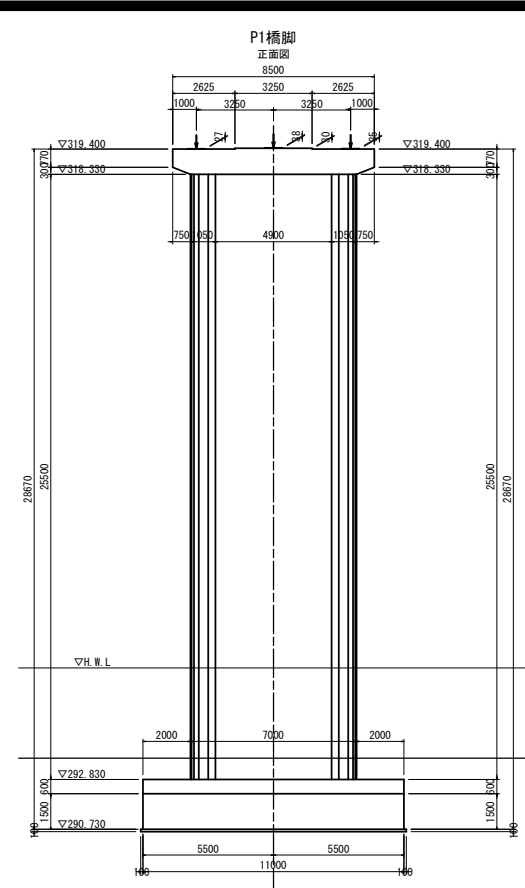
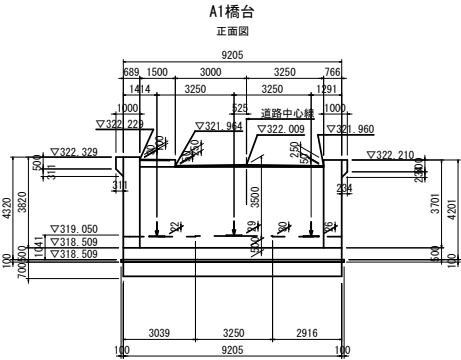
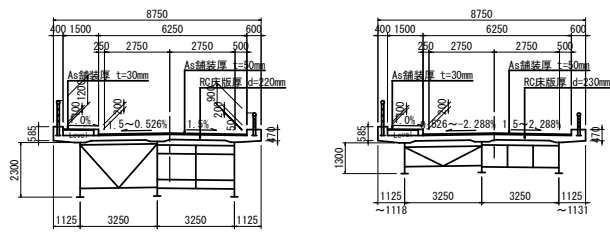


宮下橋 現橋一般図

上部工断面図 S=1:100

2 径間連続非合成版桁 (A1-P2)

単純合成版桁 (P2-A2)



橋脚天端高

	A1			P1			P2		
	G1	G2	G3	G1	G2	G3	G1	G2	G3
計画路面高	322.181	322.010	321.977	322.589	322.418	322.385	322.958	322.759	322.721
舗装	258	50	50	258	50	50	258	50	50
床版	220	220	220	220	220	220	220	220	220
ハンチ	70	70	70	70	70	70	70	70	70
腹板高	2300	2300	2300	2300	2300	2300	2300	2300	2300
下フランジ	14	14	14	34	32	32	14	14	14
ソールプレート	25	25	25	28	28	28	25	25	25
寄高	205	205	205	265	265	170	170	170	170
モルタル	29	36	33	24	28	30	21	30	22
橋脚天端高	319.060	319.090	319.060	319.390	319.430	319.390	319.880	319.880	319.850

合成桁

	P2			A2		
	G1	G2	G3	G1	G2	G3
計画路面高	322.963	322.767	322.728	323.007	322.748	322.679
舗装	258	50	50	258	50	50
床版	230	230	230	230	230	230
ハンチ	60	60	60	60	60	60
腹板高	1300	1300	1300	1300	1300	1300
下フランジ	19	19	19	19	19	19
ソールプレート	25	25	25	25	25	25
寄高	85	85	85	85	85	85
モルタル	86	98	89	80	79	80
橋脚天端高	320.900	320.900	320.870	320.950	320.900	320.830

設計条件

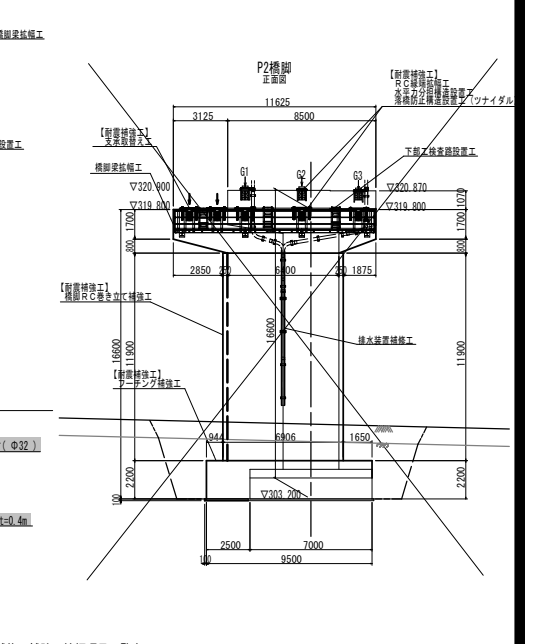
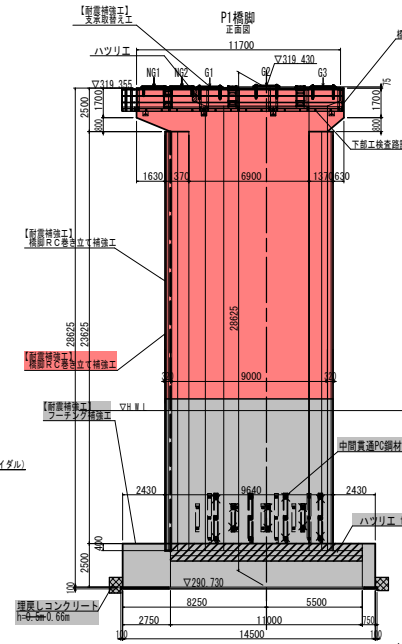
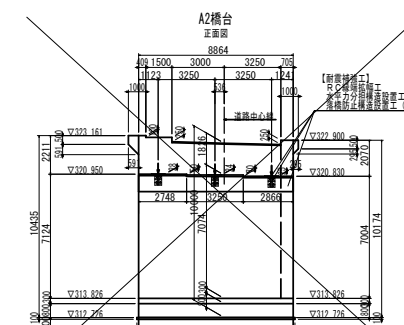
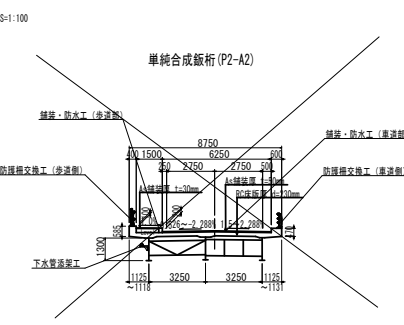
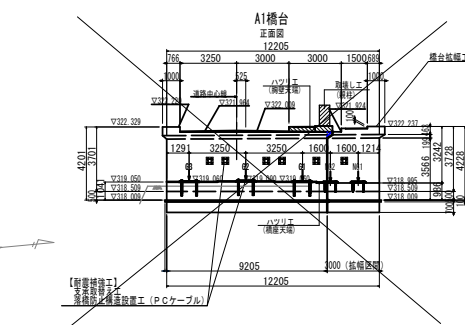
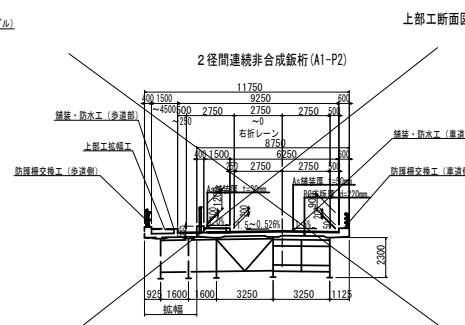
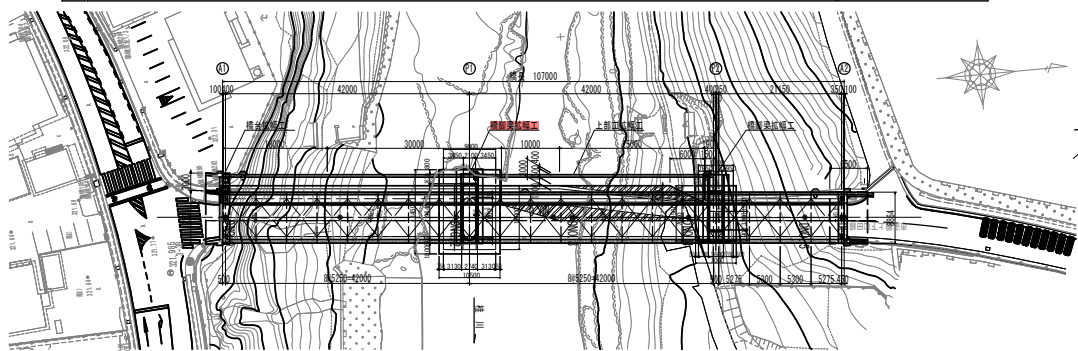
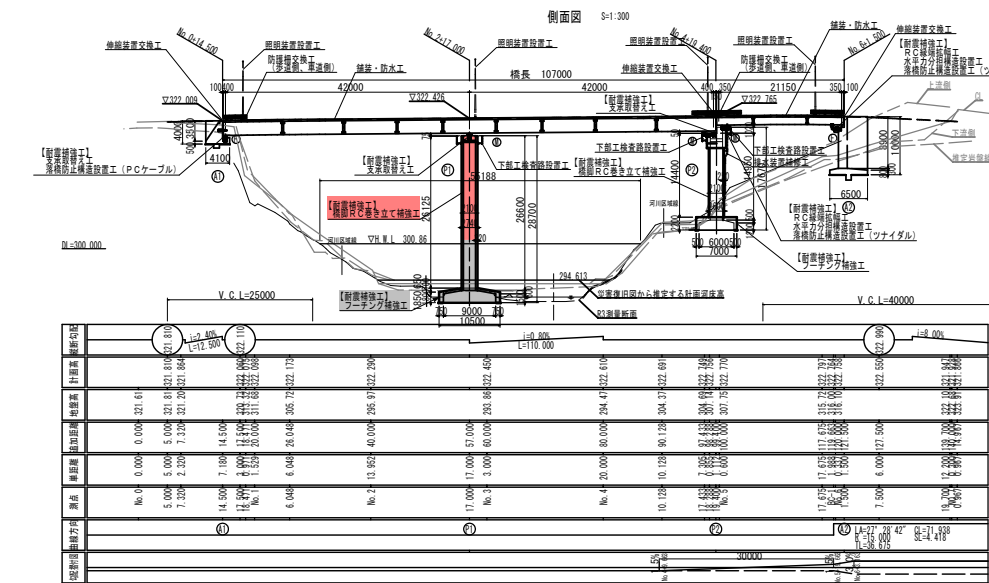
上部工	道路規格 3種4級
橋格	1等橋(TL=20)
上部工形式	2径間連続非合成版桁+単純合成桁
橋長	L=107.0m
幅員	車道 6.25m 歩道 1.5m
床版コンクリート	$\sigma_{ck}=240\text{kg/cm}^2$, 280kg/cm^2
特殊荷重	活荷重あり
下部工	橋台 重力式、逆T墩
基礎形式	橋脚 小判型、矩形型
コンクリート	全て直接基礎
設計震度	$\sigma_{ck}=210\text{kg/cm}^2$ Kh=0.18

【宮下橋】

工事名	市道線上下和旧線（宮下橋）新設補修工事
図面名	現橋一般図
作成年月日	令和 年 月
縮尺	図示 図面番号 1 / 2 2
会社名	株式会社 長 大
事業名	大 月 市

参考図

宮下橋 拡幅・耐震補強・補修一般図



補修・補強・拡幅項目一覧表

項目	内容
【耐震補強】	
縦筋RC断面にて補強工	P1, P2
フーチング補強工	P1, P2
支保取替工	A1, P1, P2 (起立側)
大断面化補強工	P2 (橋台側, A2)
基礎固定補強工	A1 (PCケーブル), P2-A2 (ツナイダル)
RC補強工	P2, A2
【拡幅・補強】	
人形工補強工	A1~P2 (主桁・床版・支保・排水側)
橋台補強工	A1
【耐震補強】	
縦筋・防水工	A1~A2
伸縮装置交換工	A1, P2, A2
防振装置交換工	A1~A2 (歩道側, 歩道側)
防振装置交換工	A1~A2
下工検査設置工	P1, P2
排水装置設置工	P2
下工検査工	A1~A2

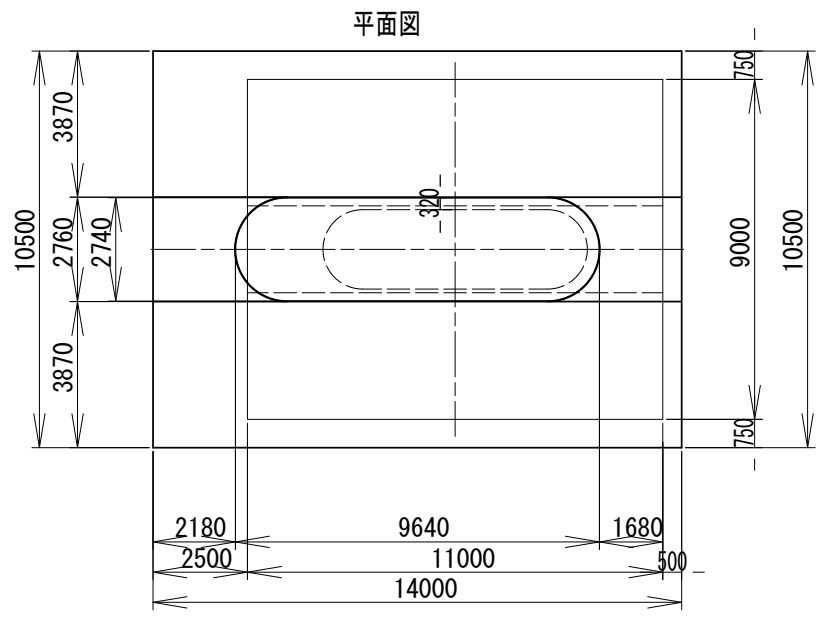
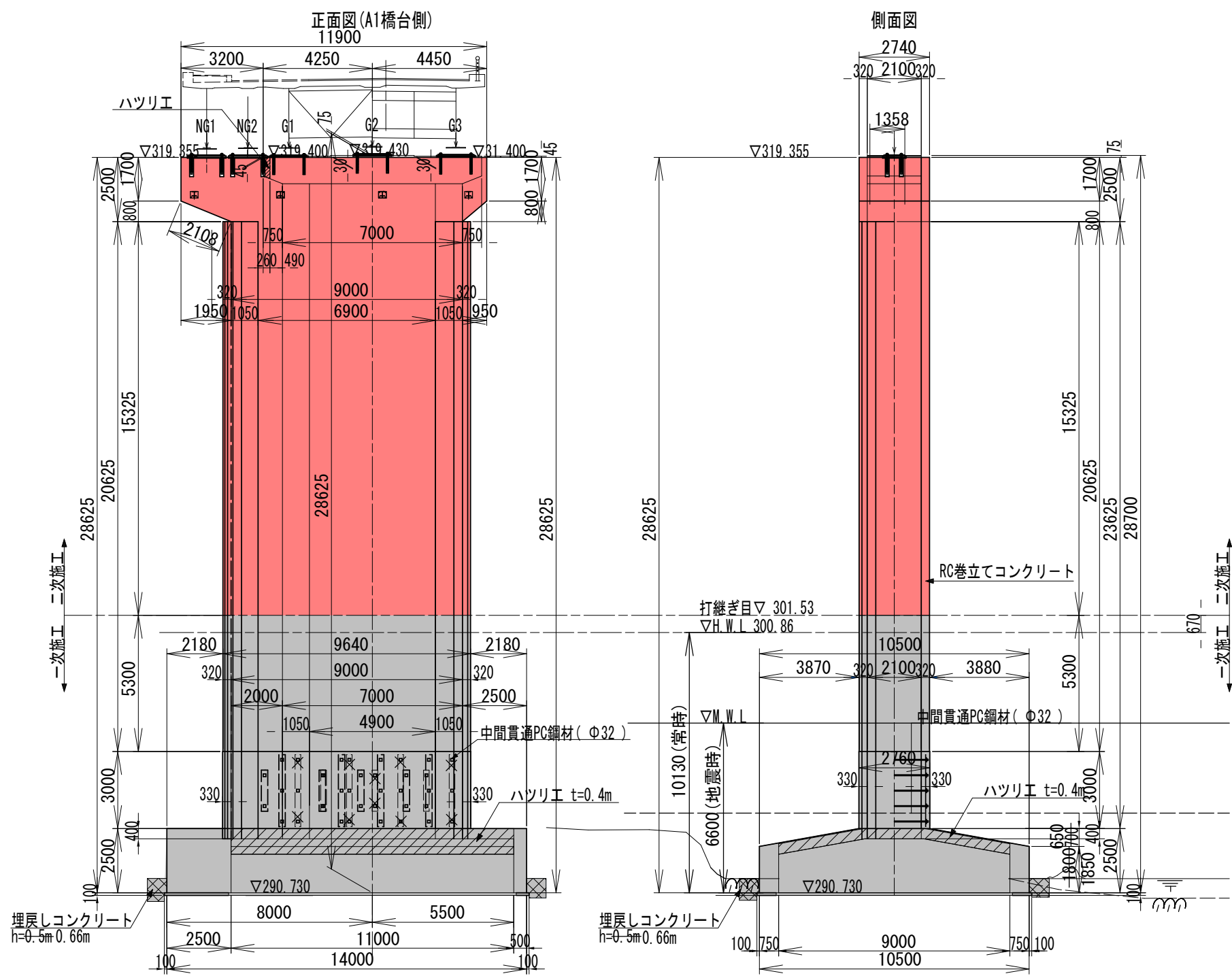
実施

【竣工図】

工事名	市道線上下水道線 宮下橋 耐震補強工事
図面名	拡幅・耐震補強・補修一般図
作成年月日	令和 年 月
編尺	図面番号 2 / 2 2
設計者	株式会社 長 大
監理者	大 野 浩

P1橋脚補強構造図

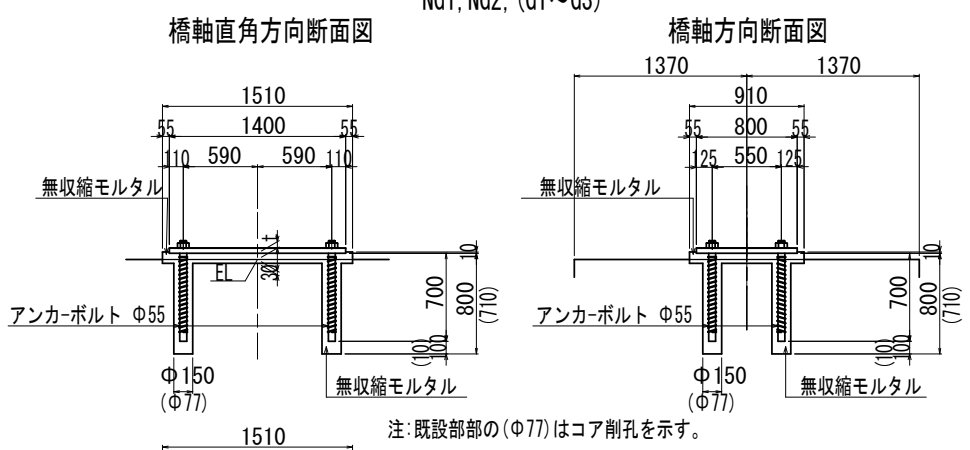
S=i:100



支承箱抜き詳細図

S=1:30

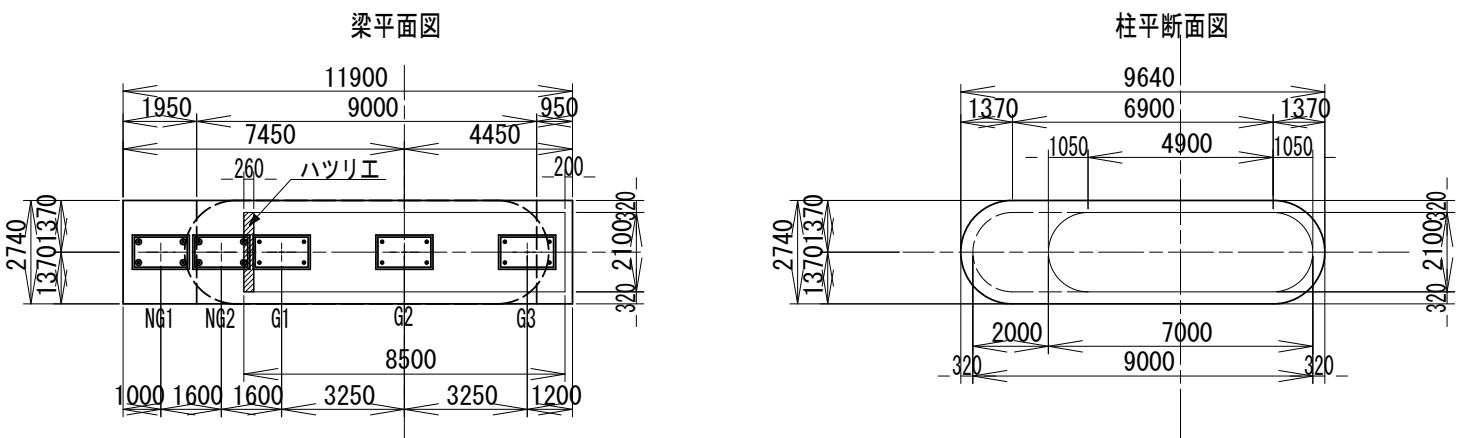
NG1, NG2, (G1~G3)



支承据付高表

	NG1	NG2	G1	G2	G3
計画路面高	322.562	322.362	322.386	322.435	322.402
モルタル厚 (M)	22	46	13	22	19
橋座面 (EL)	319.355	319.355	319.400	319.430	319.400
橋軸方向 (mm)	-	-	910	910	910
直角方向 (mm)	-	-	1510	1510	1510
厚さ (mm)	-	-	30	30	30

注: G1, G2, G3の形状及び厚さはハツリエとモルタルを示す。



- 注1) 施工に先立ち現地実測確認のこと。
注2) 新旧コンクリート接合面は全て十分な表面処理を行うこと。
注3) コンクリートの打設時は、既設コンクリート面を
湿潤状態にする。

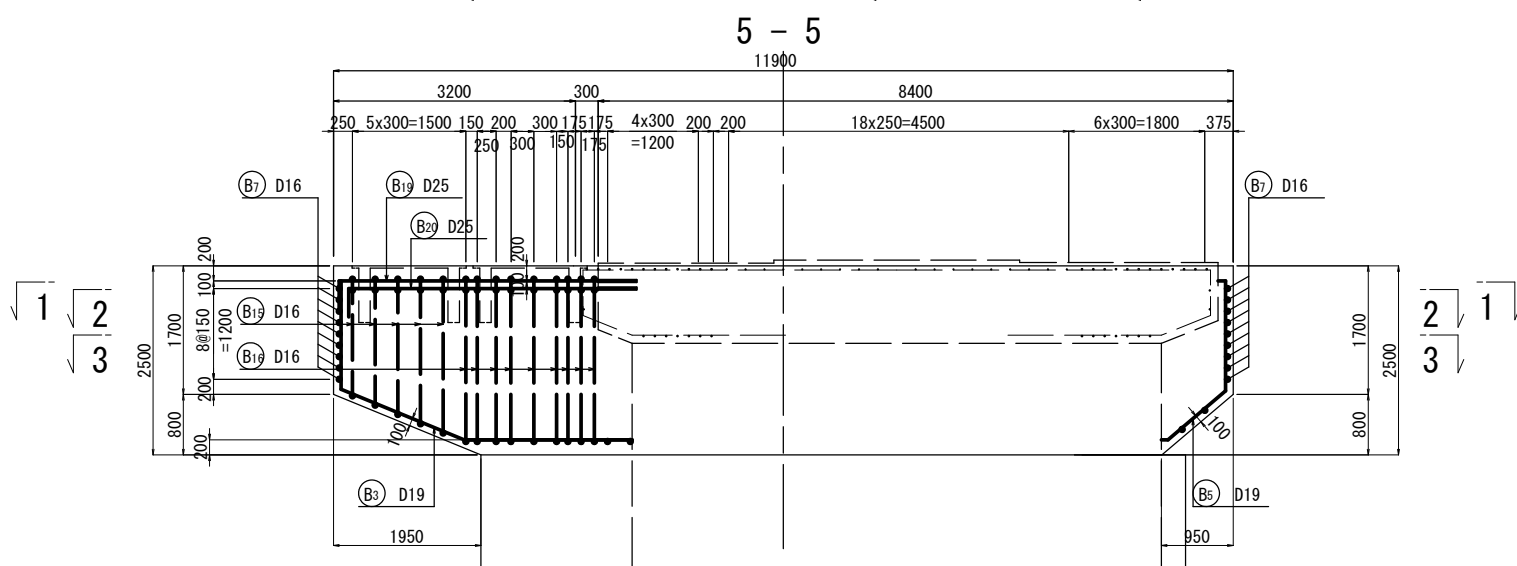
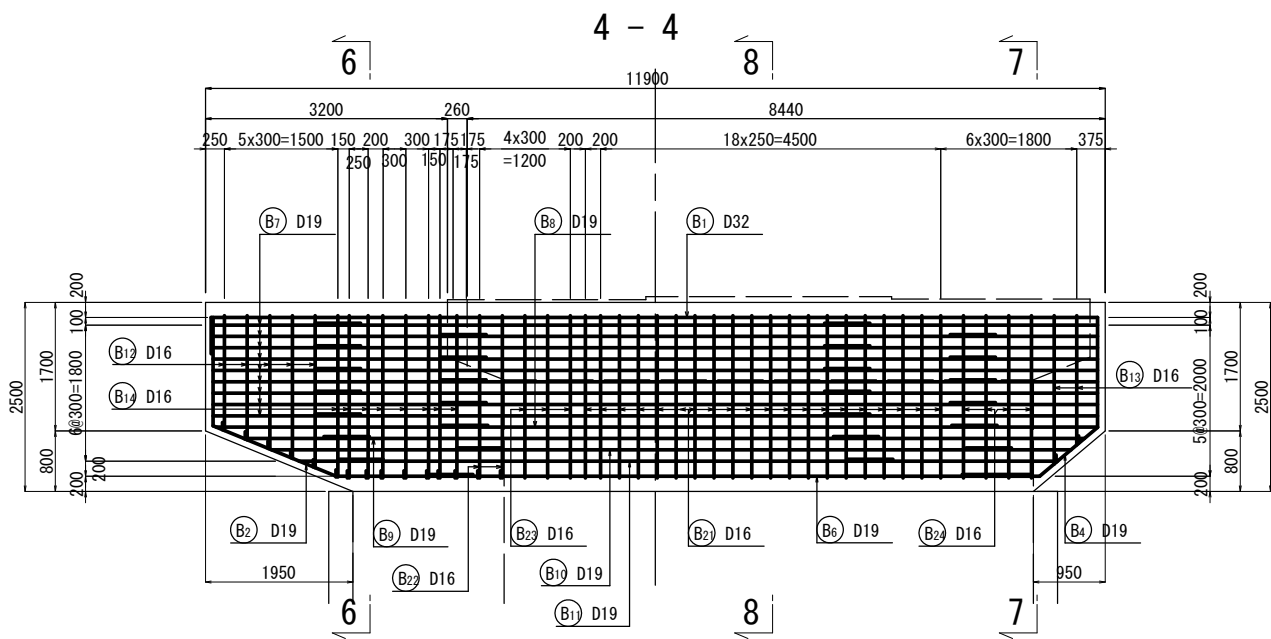
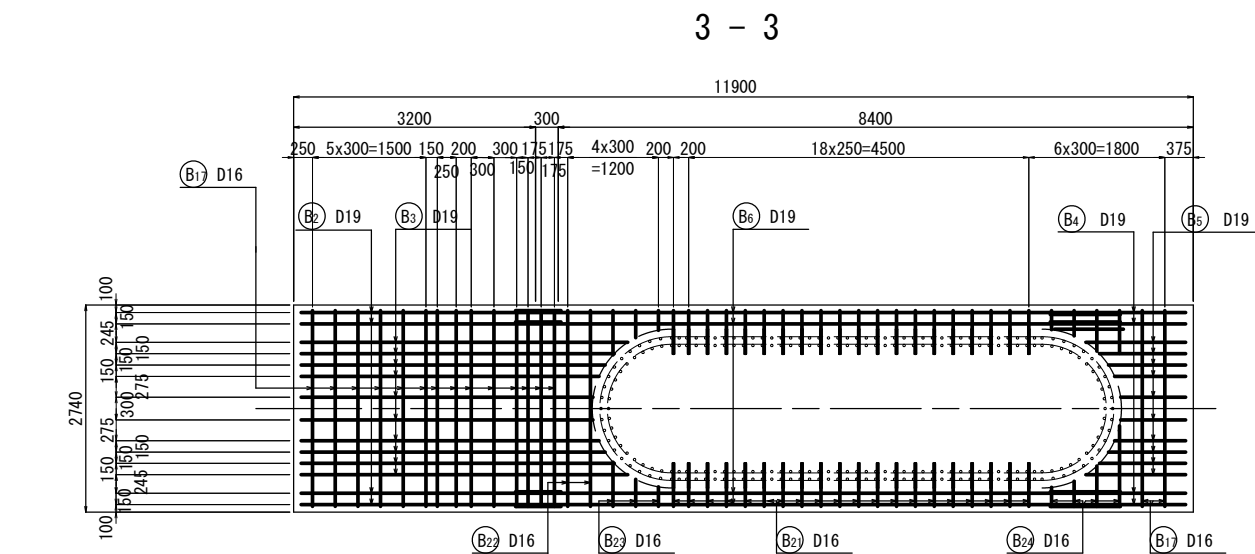
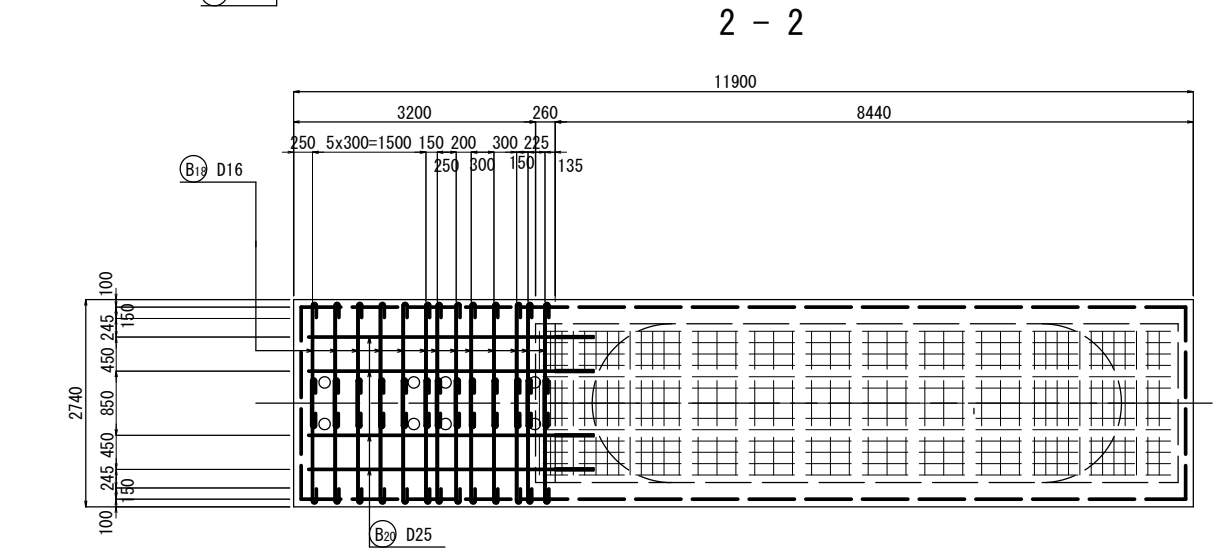
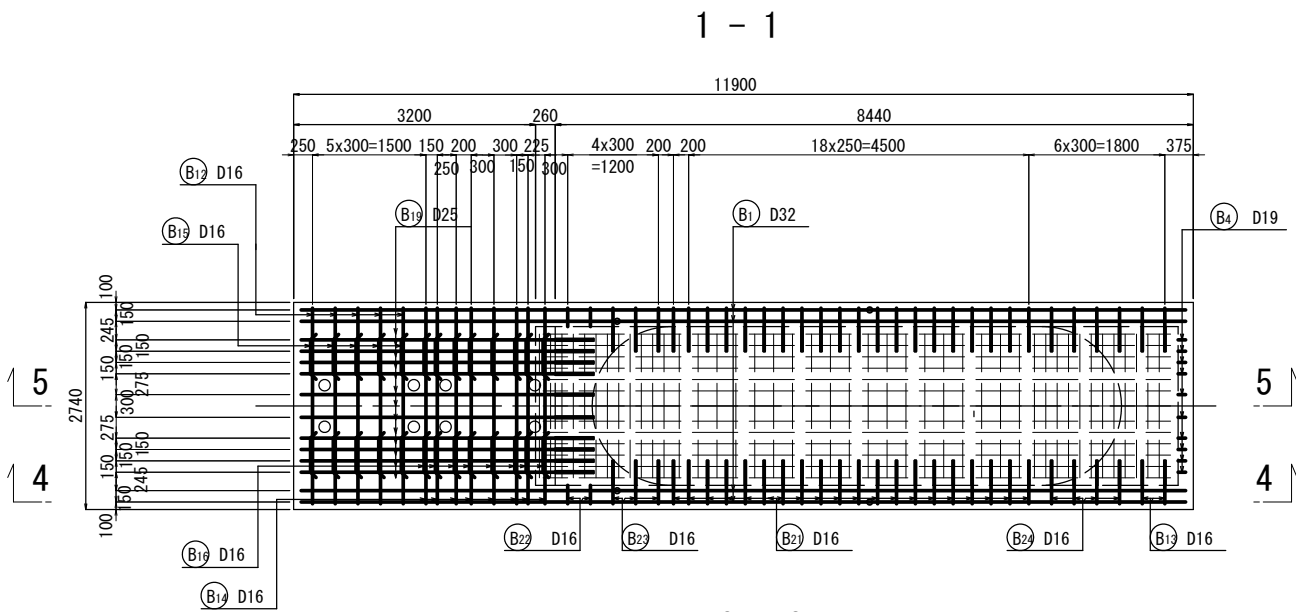
使用材料		
	既設部	拡幅部
コンクリート	21N/mm2	24N/mm2
鉄筋	SD295	SD345
均しコンクリート	-	18N/mm2

実施

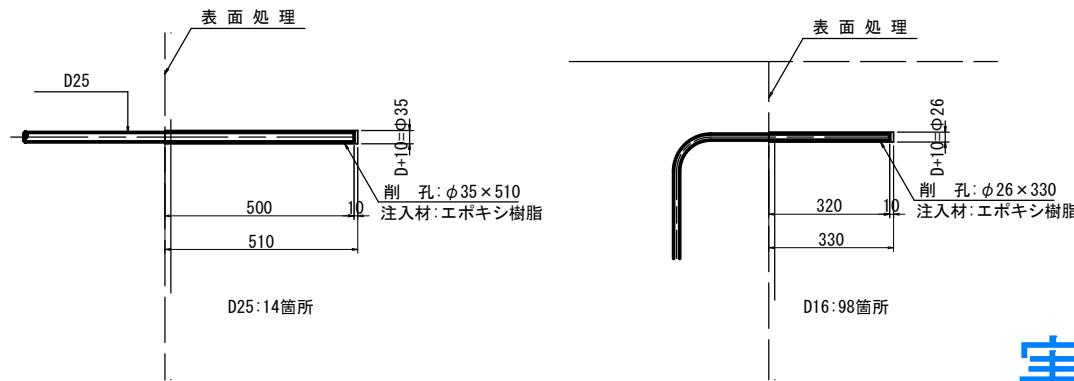
【宮下橋】

工事名	市道殿上下和田線（宮下橋）耐震補強工事			
図面名	P1橋脚補強構造図			
作成年月日	令和 年 月			
縮尺	図示	図面番号	3 / 22	
会社名	株式会社 長 大			
事業者名	大 月 市			

P1橋脚補強配筋図(その1) S=1:50



梁部アンカ一定着詳細図 S=1:10

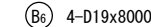
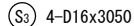
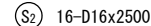
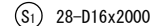
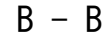
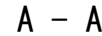
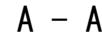


- 注 1) 新旧コンクリート接合面は全て十分な表面処理を行うこと。
注 2) コンクリートの打設時は、既設コンクリート面を湿潤状態にする。
注 3) 柱組立て用アンカー鉄筋を 1 本/m 程度配置する。
注 4) 柱の帯鉄筋は、継手位置が千鳥配置となる様配置すること。
注 5) 削孔は鉄筋探索等により既設鉄筋を確認した後、削孔すること。
注 6) 施工に先立ち現地実測確認のこと。

実施

【宮下橋】			
工事名	市道殿上下和田線（宮下橋）耐震補強工事		
図面名	P1橋脚補強配筋図(その1)		
作成年月日	令和 年 月		
縮尺	図示	図面番号	4 / 22
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	大 月 市		

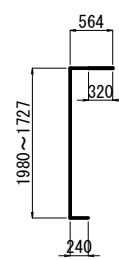
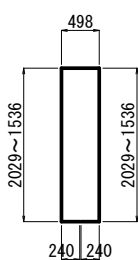
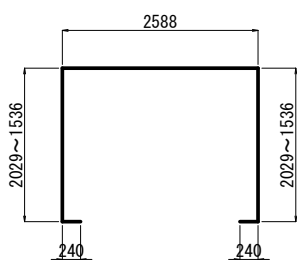
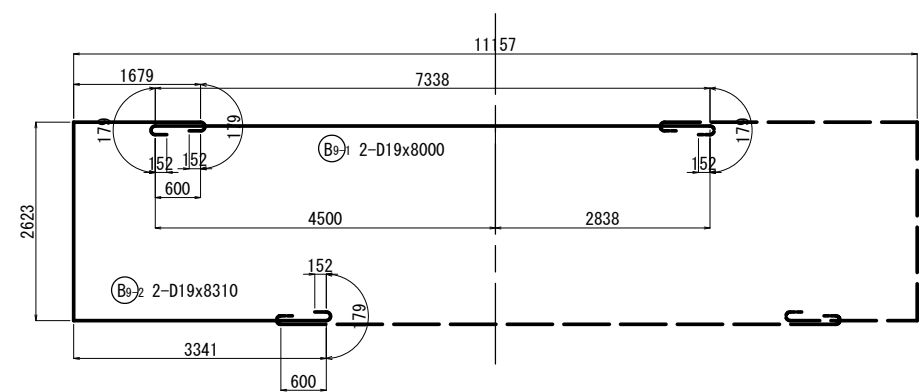
S=1:50



实施

工事名	市道殿上下和田線（宮下橋）耐震補強工事		
図面名	P1橋脚補強配筋図（その2）		
作成年月日	令和 年 月		
縮尺	図示	図面番号	5 / 22
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	大 月 市		

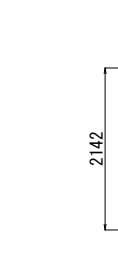
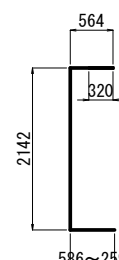
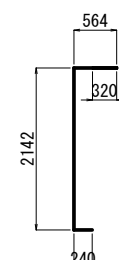
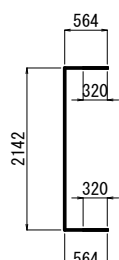
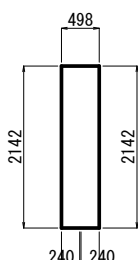
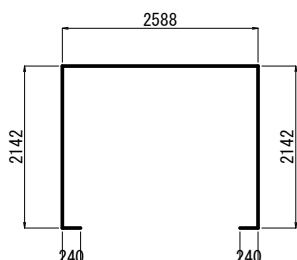
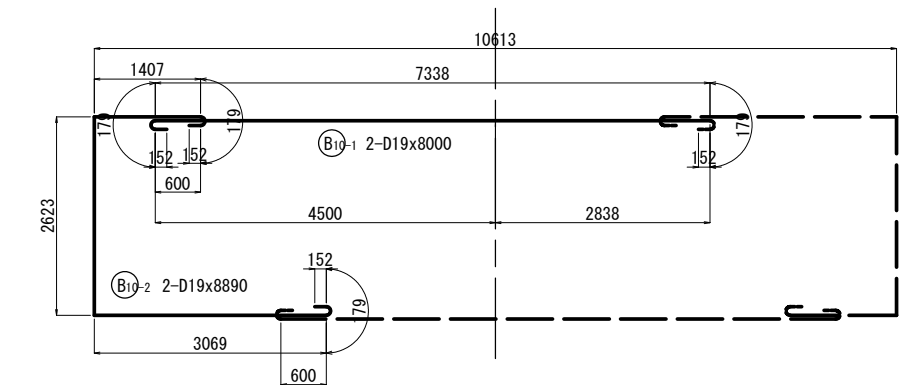
P1橋脚補強配筋図(その3) S=1:50



(B12) 5-D16x6640 (平均長)

(B13) 10-D16x4550 (平均長)

(B13) 4-D16x2660 (平均長)



(B14) 8-D16x7360

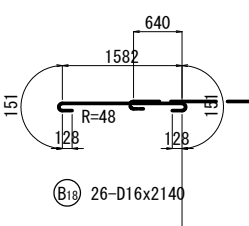
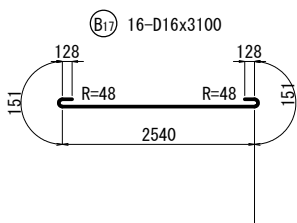
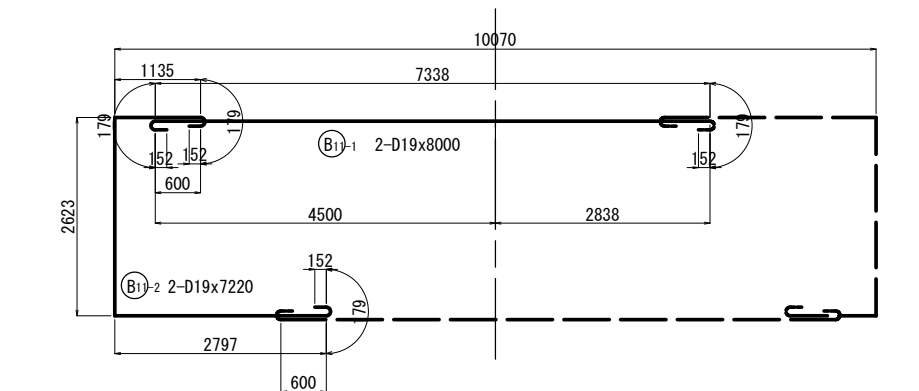
(B15) 16-D16x5270

(B21) 40-D16x3270

(B22) 4-D16x2950

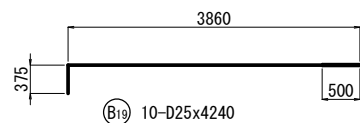
(B23) 6-D16x3110 (平均長)

(B24) 8-D16x3240 (平均長)

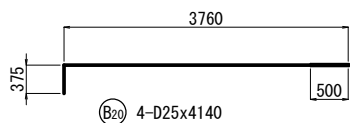


(B17) 16-D16x3100

(B18) 26-D16x2140



(B19) 10-D25x4240



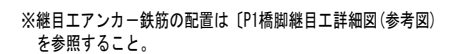
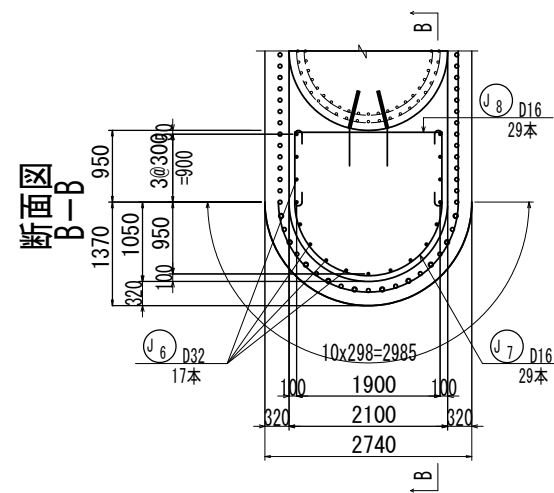
(B20) 4-D25x4140

実施

【宮下橋】

工事名	市道殿上下和田線（宮下橋）耐震補強工事		
図面名	P1橋脚補強配筋図(その3)		
作成年月日	令和 年 月		
縮尺	図示	図面番号	6 / 22
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	大 月 市		

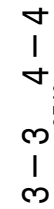
S=1:50



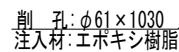
【宮下橋】

工事名	市道殿上下和田線（宮下橋）耐震補強工事		
図面名	P1橋脚補強配筋図（その4）		
作成年月日	令和 年 月		
縮尺	図示	図面番号	7 / 22
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	大 月 市		

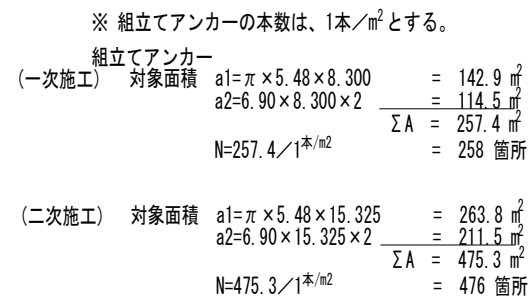
S=1:50



S=1:10



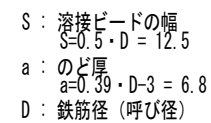
S=1:5



アンカー削孔に支障となる底版増厚内の帯鉄筋をずらし（直線部を長くして）底版を施工した後、完成底版から削孔して柱主筋を配置する。



S=1:5

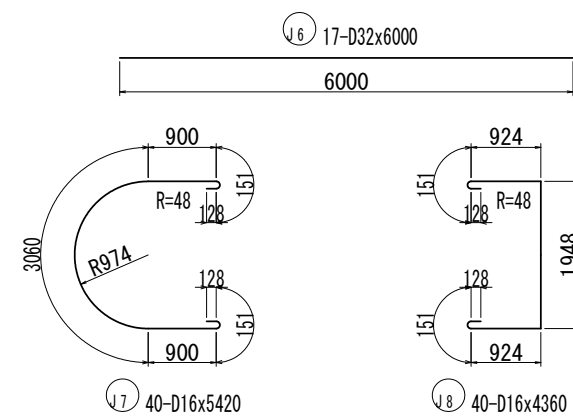
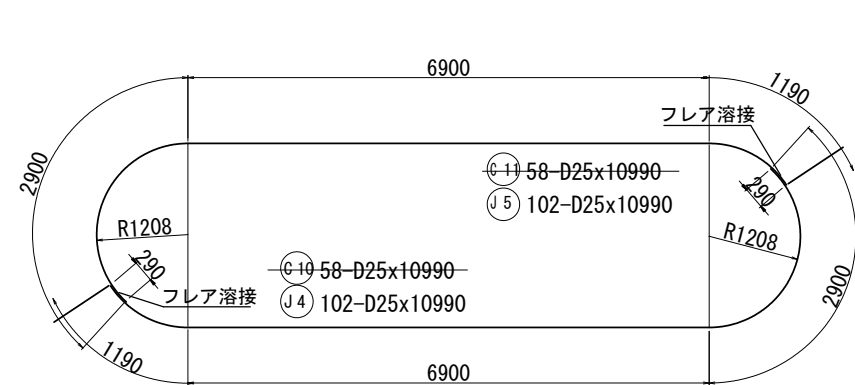
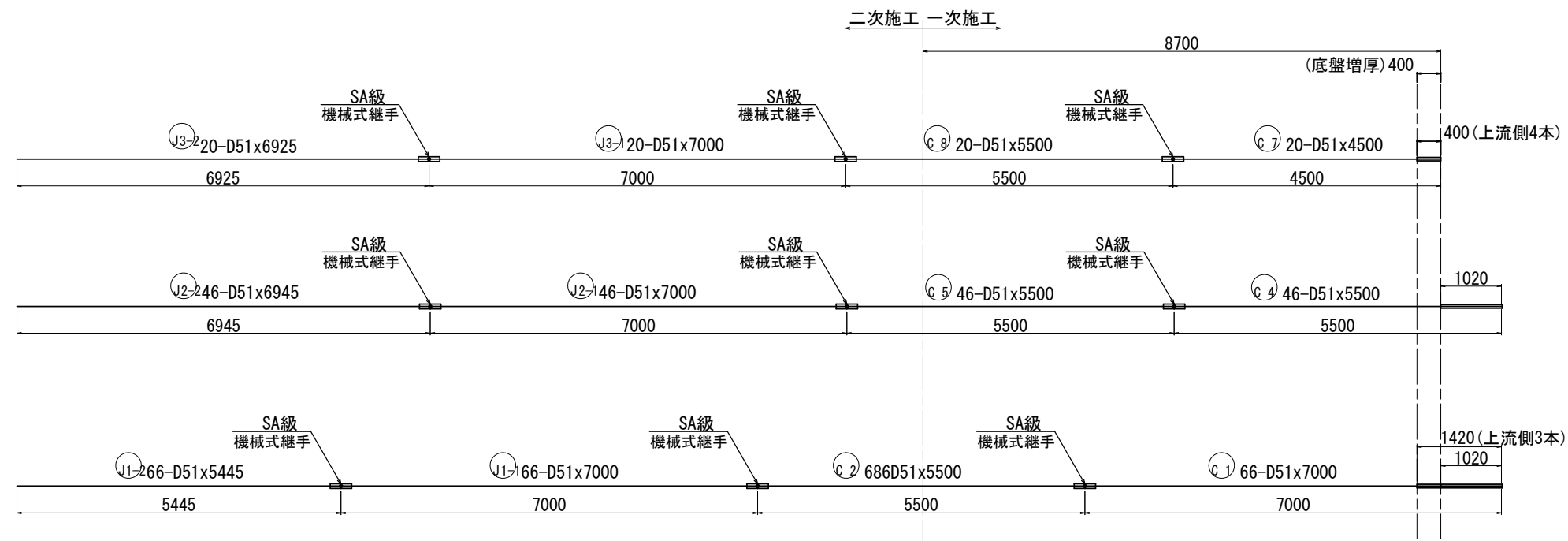


S=1:10

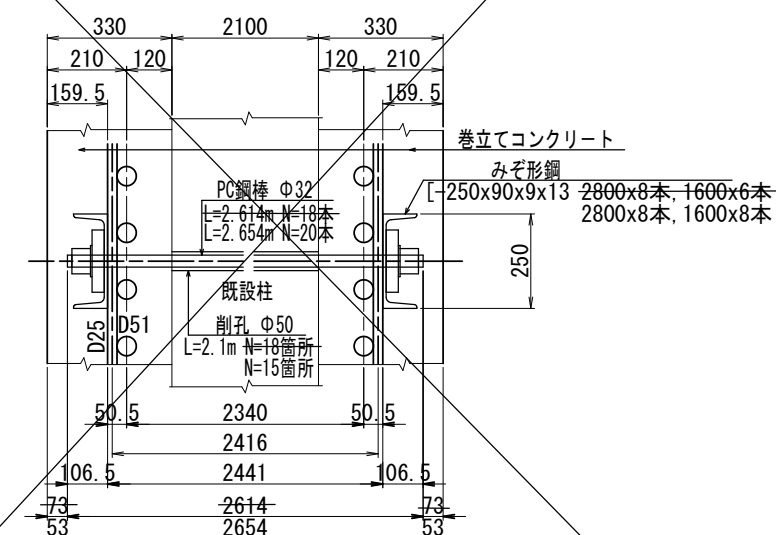


工事名	市道殿上下和田線（宮下橋）耐震補強工事		
図面名	PI橋脚補強配筋図（その5）		
作成年月日	令和 年 月		
縮尺	図示	図面番号	8 / 22
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	大 月 市		

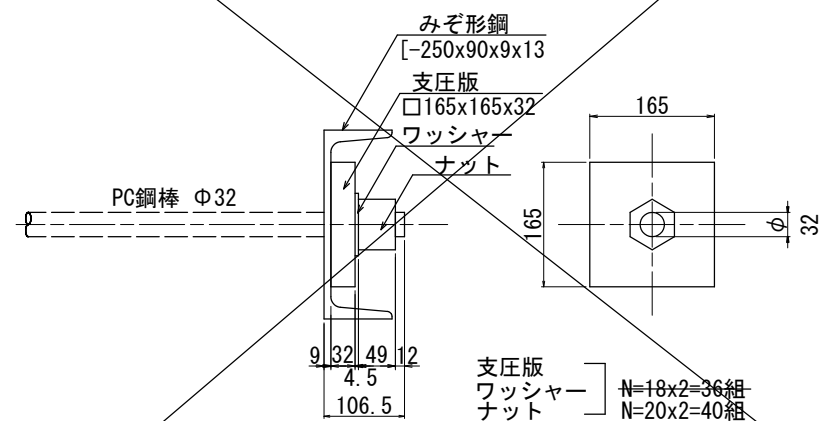
P1橋脚補強配筋図(その6) S=1:50



PC鋼棒詳細図 S=1:10
平面図



PC鋼棒定着部詳細図 S=1:5
断面図



実施

【宮下橋】

工事名	市道殿上下和田線（宮下橋）耐震補強工事		
図面名	P1橋脚補強配筋図(その6)		
作成年月日	令和 年 月		
縮尺	図示	図面番号	9 / 22
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	大 月 市		

P1橋脚補強配筋図(その11) S=1:50

鉄筋表(1次施工)

記号	径	長さ(mm)	本数	単位質量(kg/m)	1本当り質量(kg)	質量(kg)	摘 要
C1	D51	7000	66	15.9	111.30	7346	≡ (66)
C2	D51	5500	66	15.9	87.45	5772	≡≡ (一)
C4	D51	5500	46	15.9	87.45	4023	≡ (46)
C5	D51	5500	46	15.9	87.45	4023	≡≡ (一)
C7	D51	4500	20	15.9	71.55	1431	≡ (20)
C8	D51	5500	20	15.9	87.45	1749	≡≡ (一)
C10	D25	10990	58	3.98	43.74	2537	ㄣ [58]
C11	D25	10990	58	3.98	43.74	2537	ㄣ [58]
29418 kg							
F1	D32	11160	22	6.23	69.53	1530	┐
F2	D32	1720	168	6.23	10.72	1801	┐
F3-1	D29	10000	10	5.04	50.40	504	┐ <10>
F3-2	D29	4570	10	5.04	23.03	230	┐
F4	D29	3370	54	5.04	16.98	917	┐
F5	D29	1370	54	5.04	6.90	373	┐
F6	D29	2790	6	5.04	14.06	84	┐
F7	D29	790	6	5.04	3.98	24	┐
F8-1	D29	9000	30	5.04	45.36	1361	┐ <30>
F8-2	D29	4360	30	5.04	21.97	659	┐
F9	D29	6090	16	5.04	30.69	491	┐ (平均長)
F10	D29	5950	42	5.04	29.99	1260	┐
F11-1	D25	12000	2	3.98	47.76	96	┐
F11-2	D25	7000	2	3.98	27.86	56	┐
F12-1	D25	11680	34	3.98	46.49	1581	┐ (平均長)
F12-2	D25	6360	34	3.98	25.31	861	┐ (平均長)
F13	D25	6880	9	3.98	27.38	246	┐ (平均長)
F14	D25	4880	9	3.98	19.42	175	┐ (平均長)
F15-1	D16	10640	10	1.56	16.60	166	┐
F15-2	D16	7050	2	1.56	11.00	22	┐
F16-1	D16	10000	8	1.56	15.60	125	┐
F16-2	D16	4500	8	1.56	7.02	56	┐
F17	D16	1630	24	1.56	3.01	72	┐
F18	D16	1780	180	1.56	2.78	500	┐ (平均長)
F19	D25	400	78	3.98	1.59	124	┐
継目アンカー	D22	1000	95	3.04	3.04	289	
13603 kg							
D51	24344 kg	機械式継手(SA級) フレア溶接箇所 ガス圧接箇所					
D32	3331 kg	(132)					
D29	5903 kg						
D25	8213 kg	[116] <40>					
D22	289 kg						
D16	941 kg						
合計	43021 kg	(132) [116] <40>					

※()内は機械式継手(SA級)、[]内はフレア溶接、< >内はガス圧接の箇所数を示す。

鉄筋表(2次施工)

記号	径	長さ(mm)	本数	単位質量(kg/m)	1本当り質量(kg)	質量(kg)	摘 要
B1-1	D32	8000	4	6.23	49.84	199	┐ <4>
B1-2	D32	4660	4	6.23	29.03	116	┐
B2	D19	5000	4	2.25	11.25	45	┐
B3	D19	5630	10	2.25	12.67	127	┐ (平均長)
B4	D19	3500	4	2.25	7.88	32	┐
B5	D19	2750	10	2.25	6.19	62	┐ (平均長)
B6	D19	8000	4	2.25	18.00	72	┐
B7-1	D19	8000	18	2.25	18.00	324	┐
B7-2	D19	8890	18	2.25	20.00	360	┐
B8-1	D19	8000	2	2.25	18.00	36	┐
B8-2	D19	8850	2	2.25	19.91	40	┐
B9-1	D19	8000	2	2.25	18.00	36	┐
B9-2	D19	8310	2	2.25	18.70	37	┐
B10-1	D19	8000	2	2.25	18.00	36	┐
B10-2	D19	8890	2	2.25	20.00	40	┐
B11-1	D19	8000	2	2.25	18.00	36	┐
B11-2	D19	7220	2	2.25	16.25	33	┐
B12	D16	6640	5	1.56	10.36	52	┐ (平均長)
B13	D16	2660	4	1.56	4.15	17	┐ (平均長)
B14	D16	7360	8	1.56	11.48	92	┐
B15	D16	4550	10	1.56	7.10	71	┐ (平均長)
B16	D16	5270	16	1.56	8.22	132	┐
B17	D16	3100	16	1.56	4.84	77	┐
B18	D16	2140	26	1.56	3.34	87	┐
B19	D25	4240	10	3.98	16.88	169	┐
B20	D25	4140	4	3.98	16.48	66	┐
B21	D16	3270	40	1.56	5.10	204	┐
B22	D16	2950	4	1.56	4.60	18	┐
B23	D16	3110	6	1.56	4.85	29	┐ (平均長)
B24	D16	3240	8	1.56	5.05	40	┐ (平均長)
2685 kg							
S1	D16	2000	28	1.56	3.12	87	┐
S2	D16	2500	16	1.56	3.90	62	┐
S3	D16	3050	4	1.56	4.76	19	┐
168 kg							
J1-1	D51	7000	66	15.9	111.30	7346	≡≡ (66)
J1-2	D51	5445	66	15.9	86.58	5714	≡ (66)
J2-1	D51	7000	46	15.9	111.30	5120	≡≡ (46)
J2-2	D51	6945	46	15.9	110.43	5080	≡ (46)
J3-1	D51	7000	20	15.9	111.30	2226	≡≡ (20)
J3-2	D51	6925	20	15.9	110.11	2202	≡ (20)
J4	D25	10990	102	3.98	43.74	4461	ㄣ [102]
J5	D25	10990	102	3.98	43.74	4461	ㄣ [102]
J6	D32	6000	17	6.23	37.38	635	┐
J7	D16	5420	40	1.56	8.46	338	┐
J8	D16	4360	40	1.56	6.80	272	┐
継目アンカー	D22	1000	54	3.04	3.04	164	
38019 kg							
機械式継手(SA級) フレア溶接箇所 ガス圧接箇所							
D51	27688 kg	(264)					
D32	950 kg	<4>					
D25	9157 kg	[204]					
D22	164 kg						
D19	1316 kg						
D16	1597 kg						
合計	40872 kg	(264) [204] <4>					

※()内は機械式継手(SA級)、[]内はフレア溶接、< >内はガス圧接の箇所数を示す。

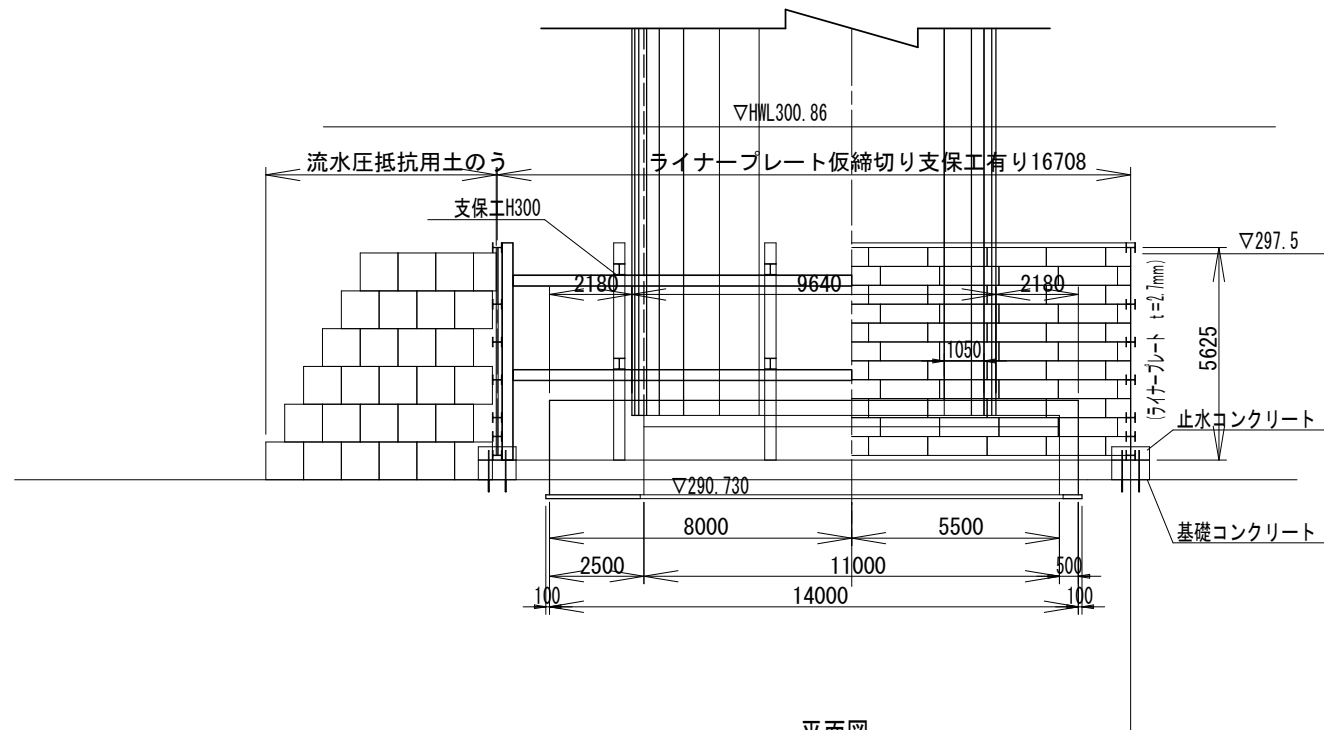
実施

【宮下橋】			
工事名	市道殿上下和田線（宮下橋）耐震補強工事		
図面名	P1橋脚補強配筋図(その11)		
作成年月日	令和 年 月		
縮尺	図示	図面番号	10 / 22
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	大 月 市		

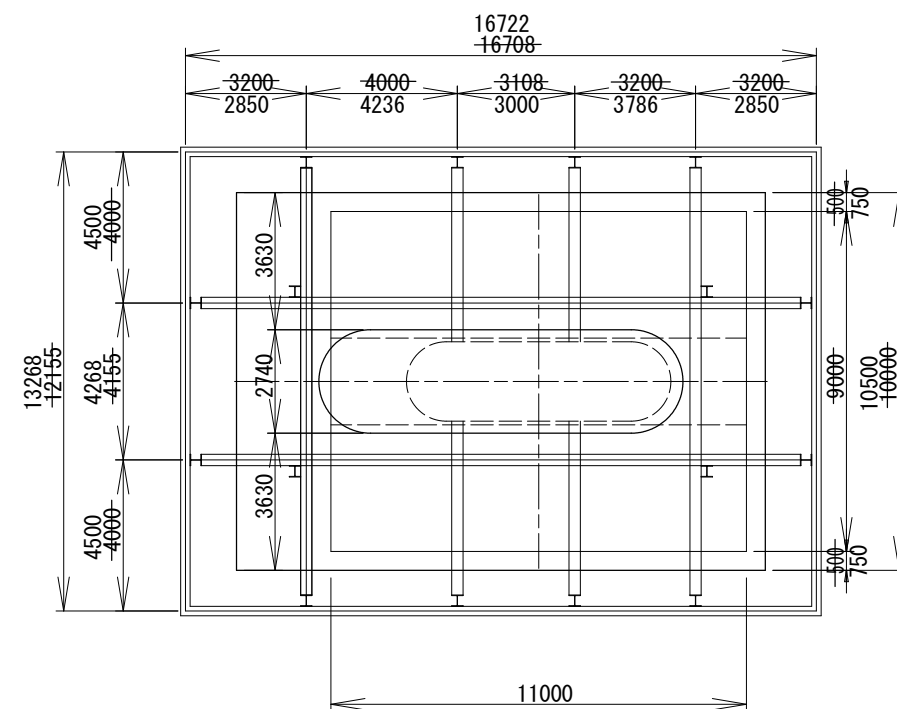
P1橋脚仮締め切り工図

S=1:100

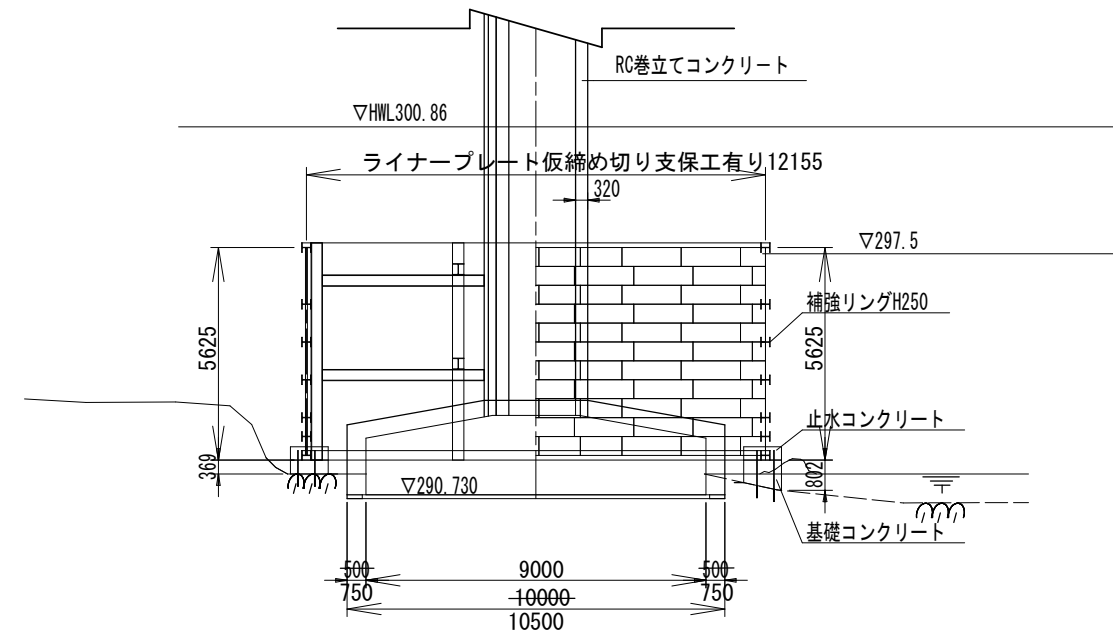
正面図 (A1橋台側)



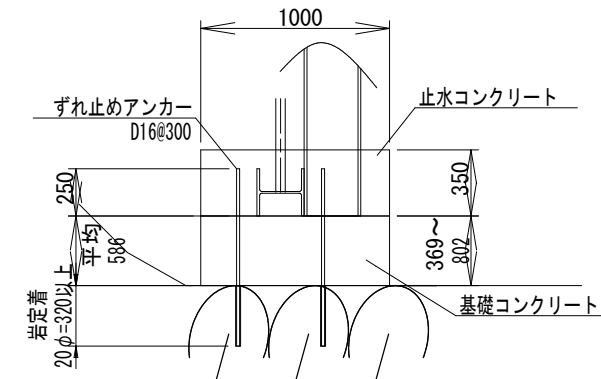
平面図



側面図



基部詳細



基部施工ステップ

- ① 岩削孔を行いずれ止めアンカー (D16@300) を設置
- ② ライナー設置水平面を出すよう基礎コンクリートを打設
- ③ 最下段の補強リングおよびライナープレートを設置
- ④ 端部杭を建込
- ⑤ 最下段補強リングおよびライナーを巻き込むよう止水コンクリートを打設

参考図

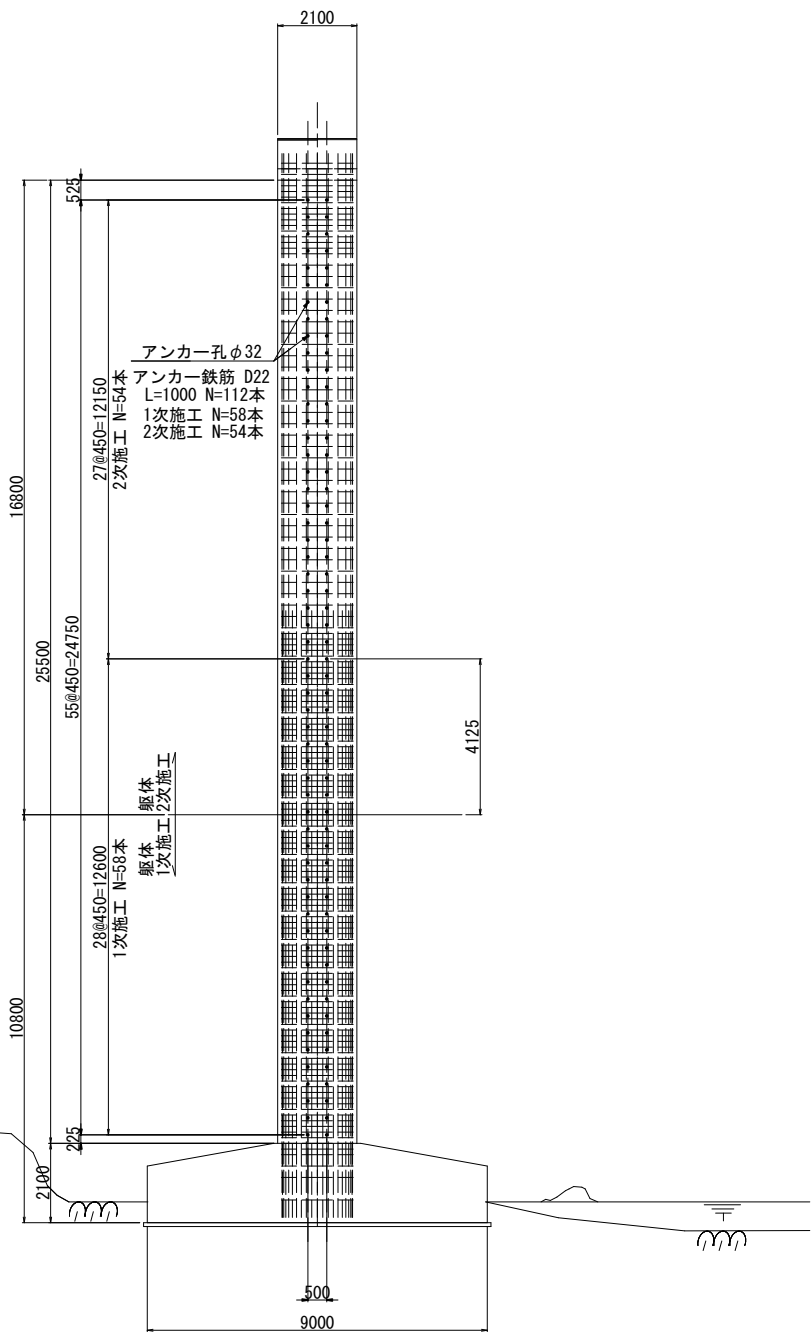
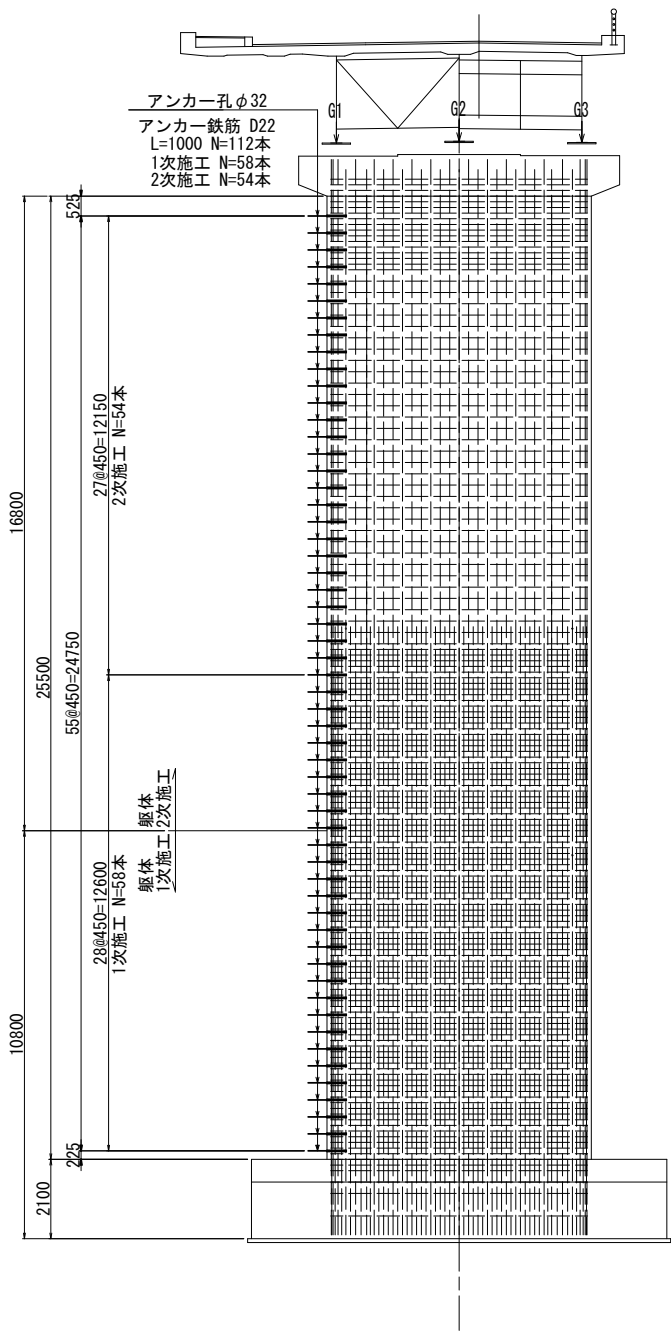
【宮下橋】

工事名	市道殿上下和田線（宮下橋）耐震補強工事		
図面名	P1橋脚仮締め切り工図		
作成年月日	令和 年 月		
縮尺	1:100	図面番号	11 / 22
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	大 月 市		

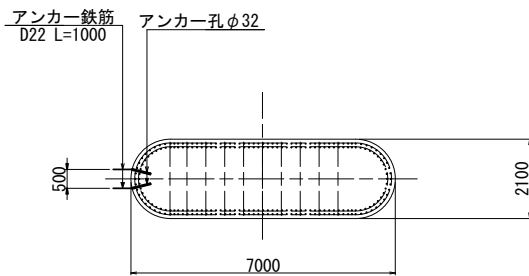
P1橋脚継目工詳細図(参考図) S=1:100

正面図(A1橋台側)

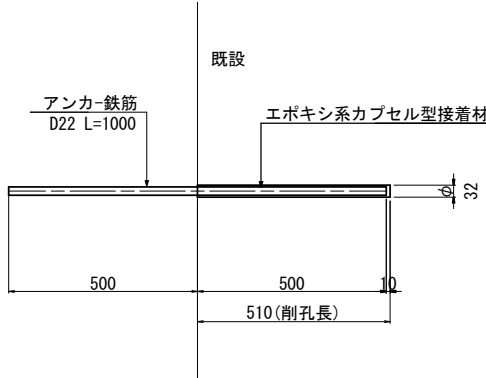
側面図



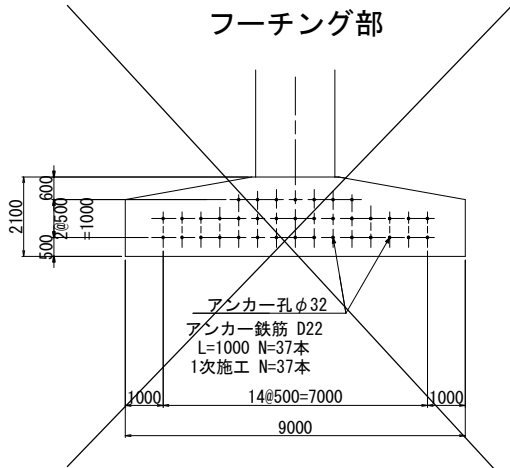
柱平断面図



アンカー詳細図 S=1:10



フーチング部



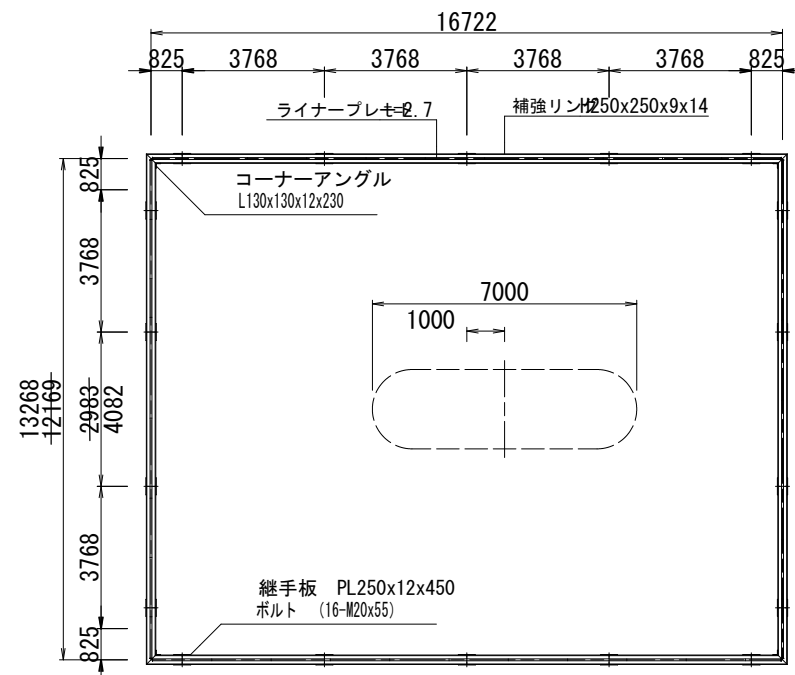
参考図

【宮下橋】

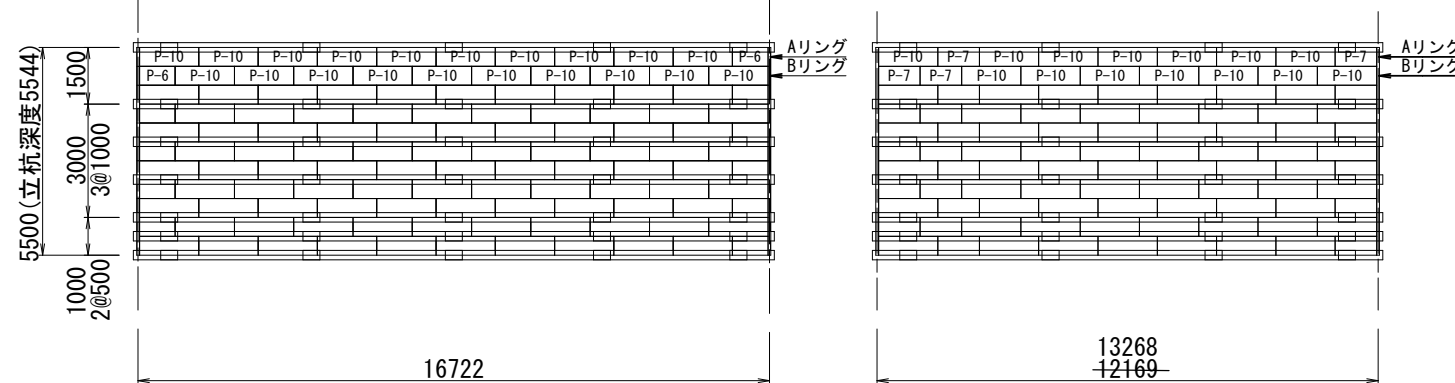
工事名	市道殿上下和田線（宮下橋）耐震補強工事		
図面名	P1橋脚継目工詳細図(参考図)		
作成年月日	令和 年 月		
縮尺	図示	図面番号	12 / 15
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	大 月 市		

宮下橋

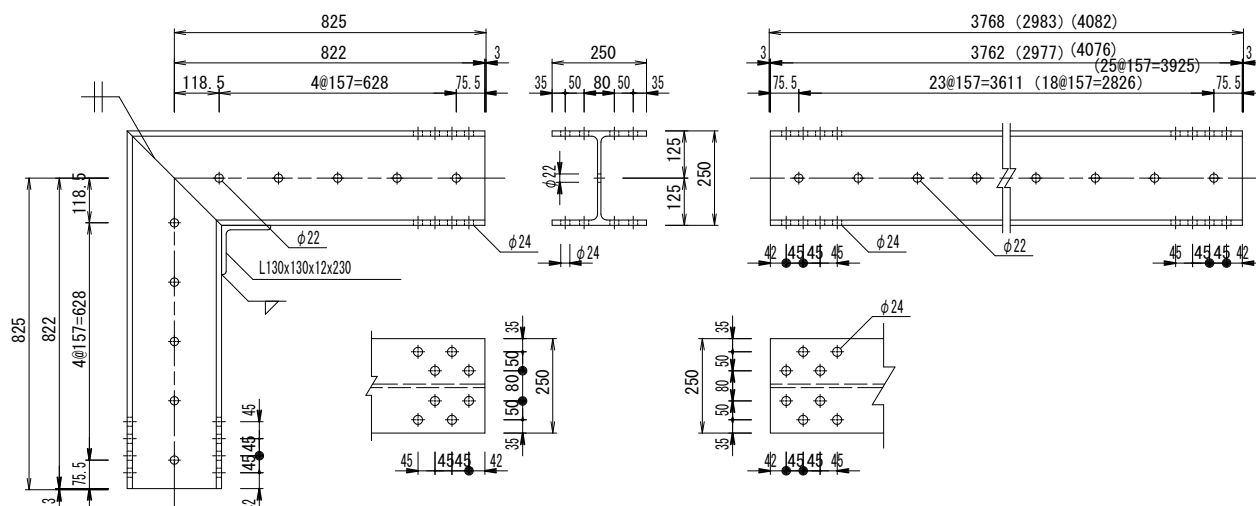
平面图 1/100



側面図 1/100



補強リング 1/10



参考図

【宮下橋】			
工事名	市道殿上下和田線（宮下橋）耐震補強工事		
図面名	ライナープレート詳細図（参考図）		
作成年月日	令和 年 月		
縮尺	図示	図面番号	13 / 22
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	大 月 市		

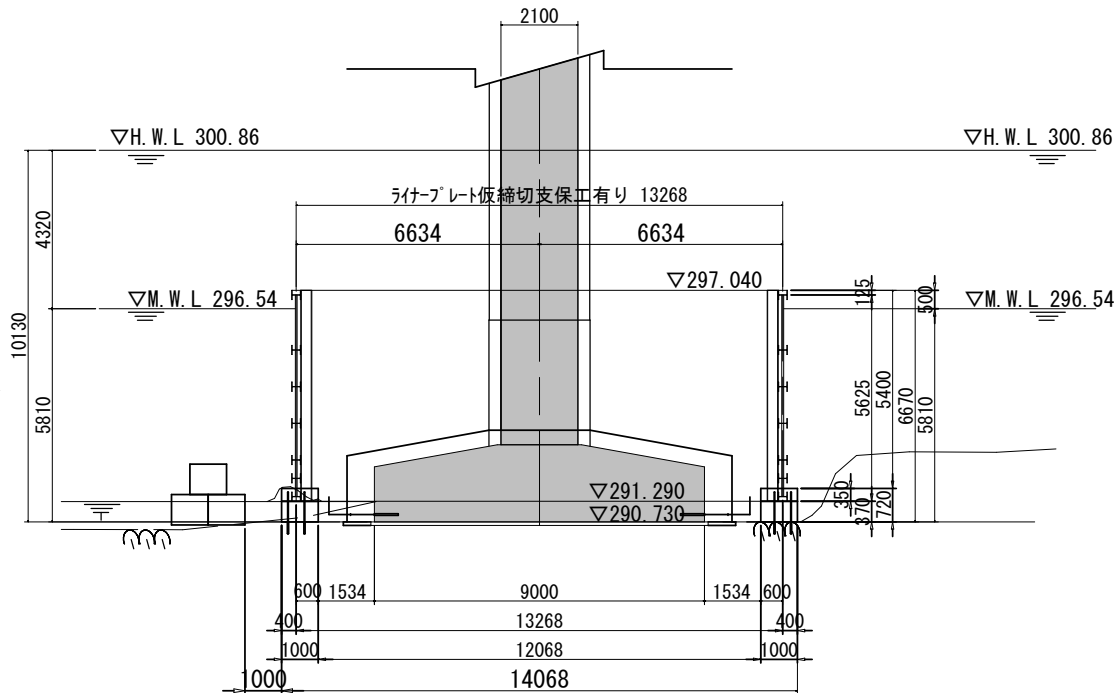
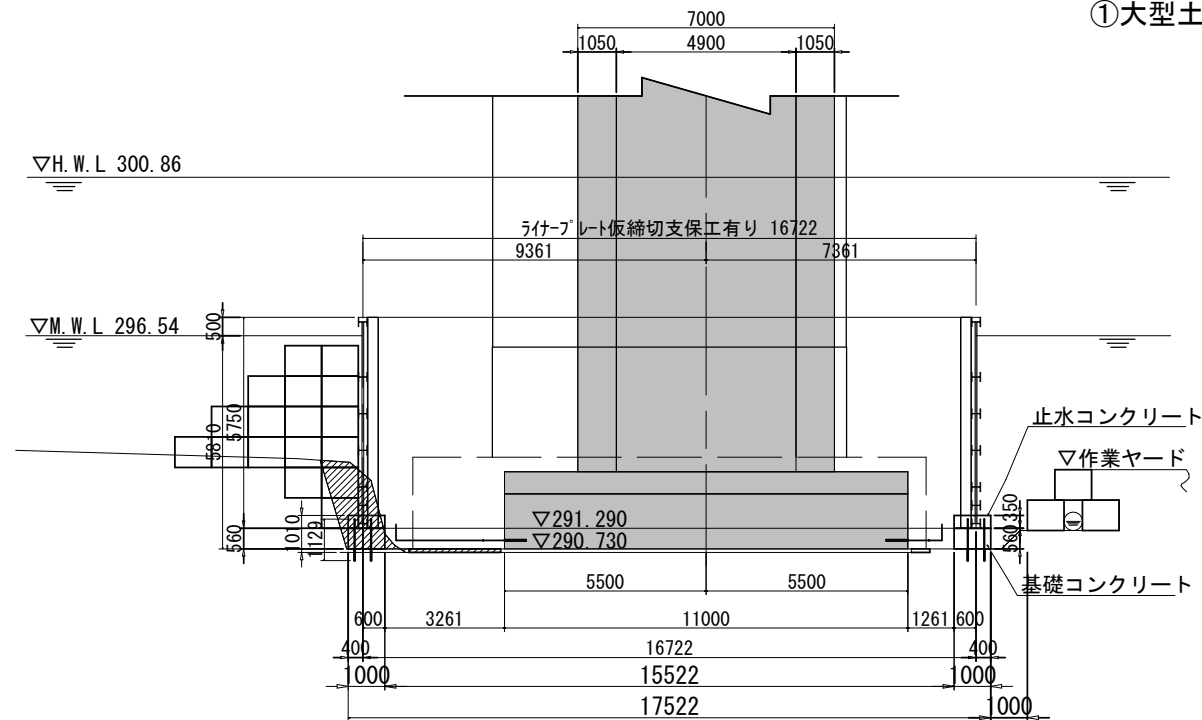
P1橋脚 仮締め切り工図 S=1:100

正面図 (A1橋台側)

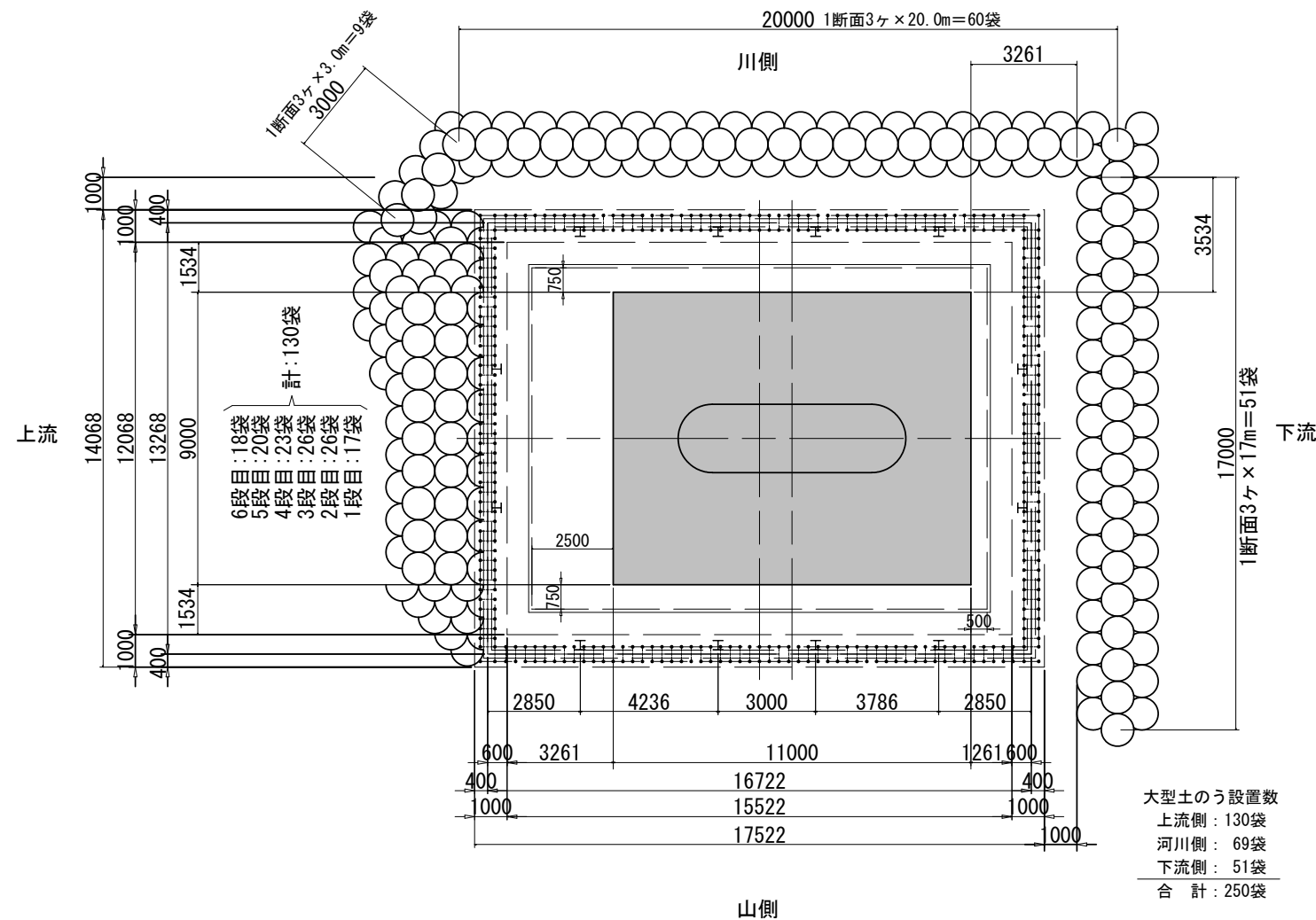
STEP-1 (仮締切)

①大型土のう設置

側面図



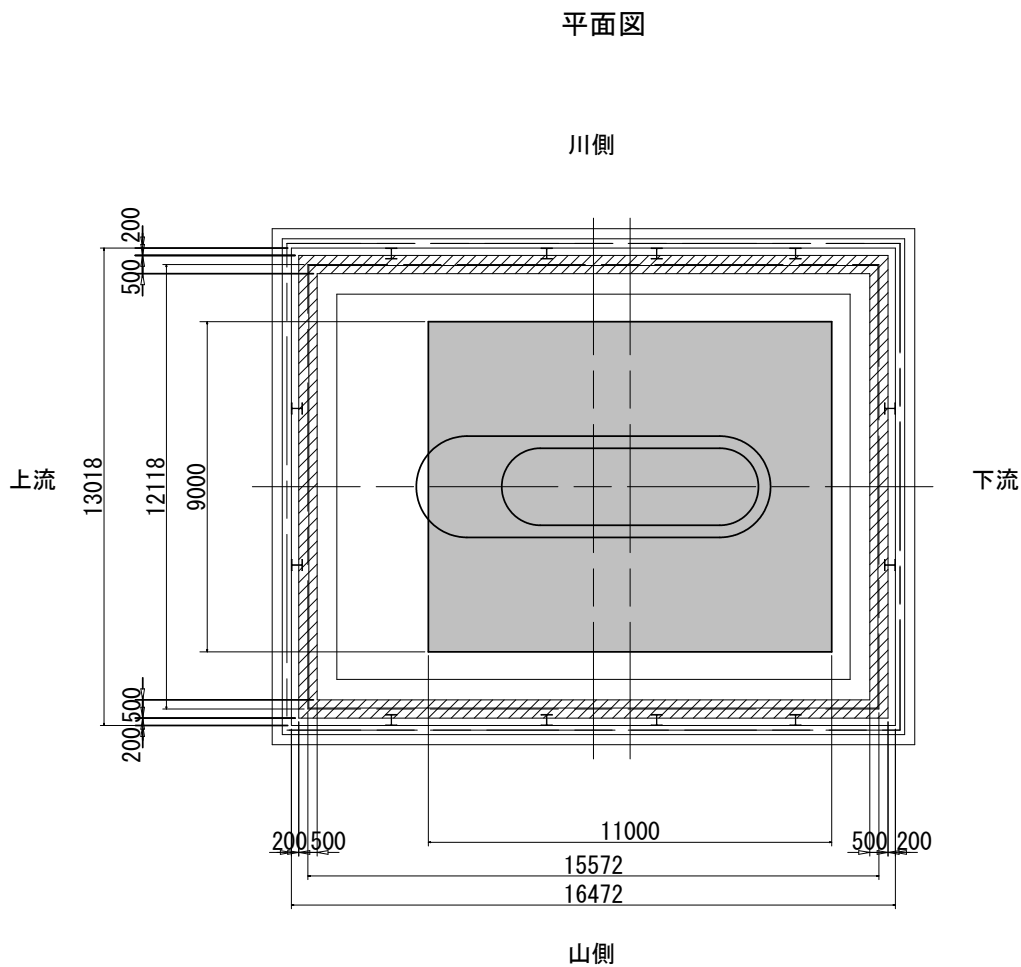
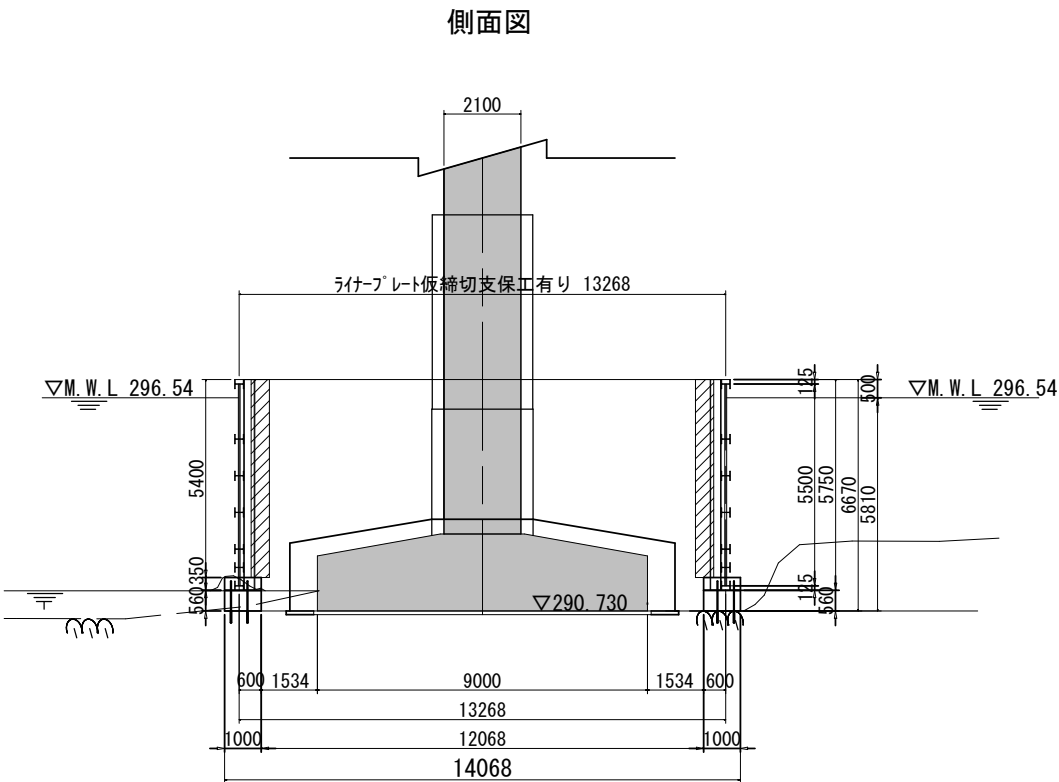
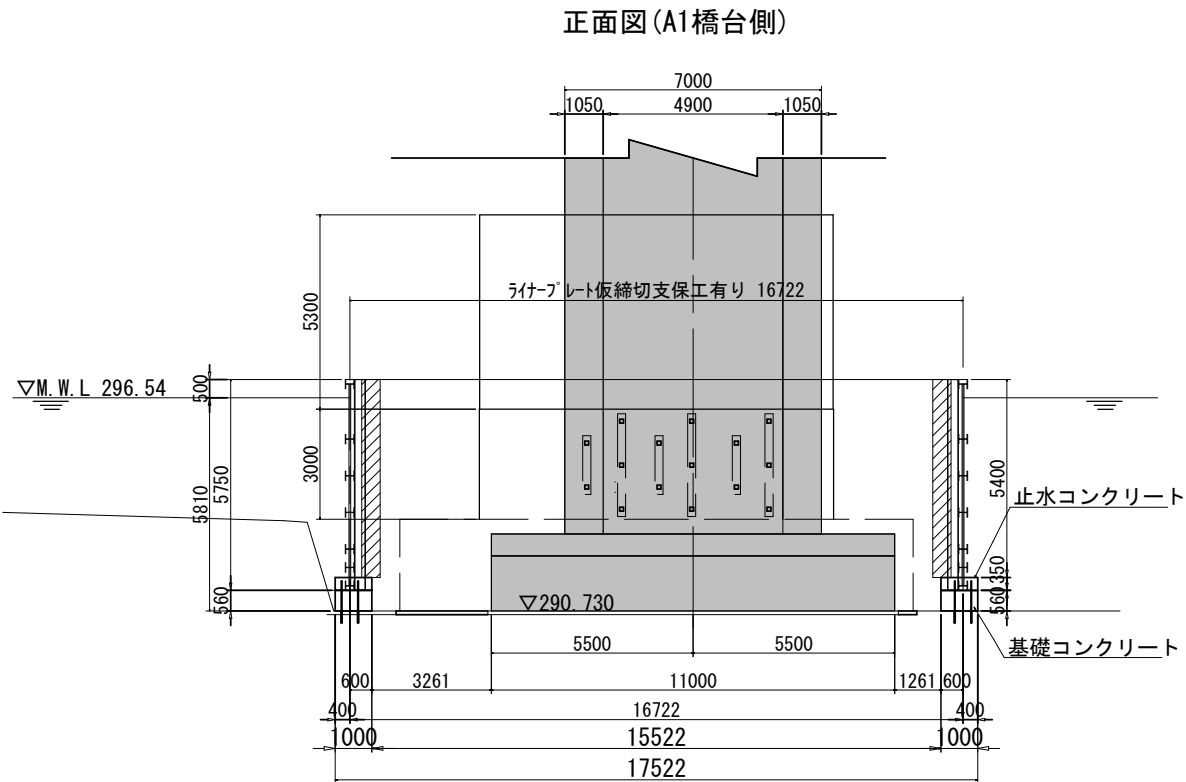
平面図



参考図

【宮下橋】			
工事名	市道殿上下和田線（宮下橋）耐震補強工事		
図面名	P1橋脚仮締め切り工図		
作成年月日	令和 年 月		
縮尺	1:100	図面番号	14 / 22
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	大 月 市		

P1橋脚 ライナープレート設置撤去足場詳細図 S=1:100



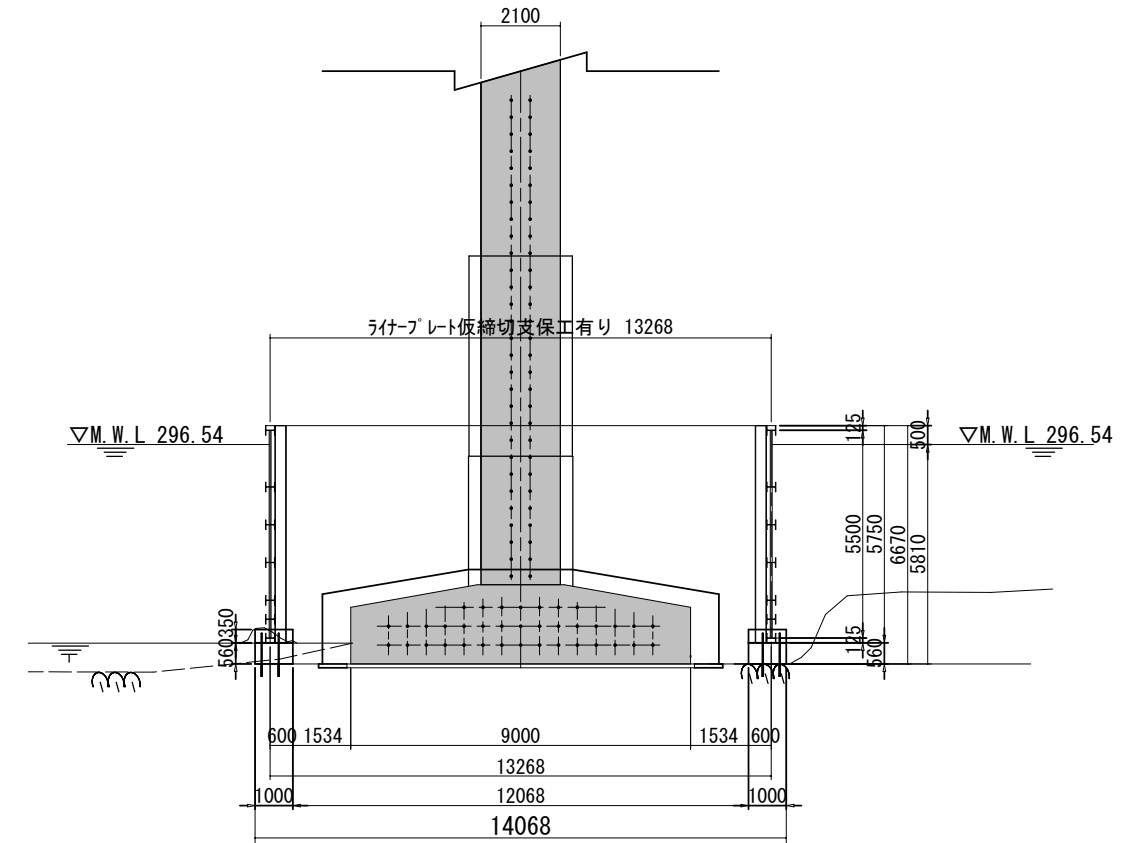
足場数量 キャットウォーク足場
 $L1 = (2 \times (15.572 + 12.118)) \times (5.4 \div 1.8) = 166.14 \text{ m}$

参考図

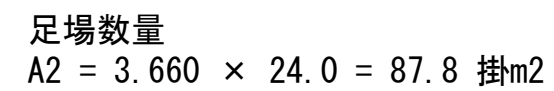
【宮下橋】			
工事名	市道殿上下和田線（宮下橋）耐震補強工事		
図面名	P1橋脚 ライナープレート設置撤去 足場図		
作成年月日	令和 年 月		
縮尺	図示	図面番号	15 / 22
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	大 月 市		

S=1:100

側面図



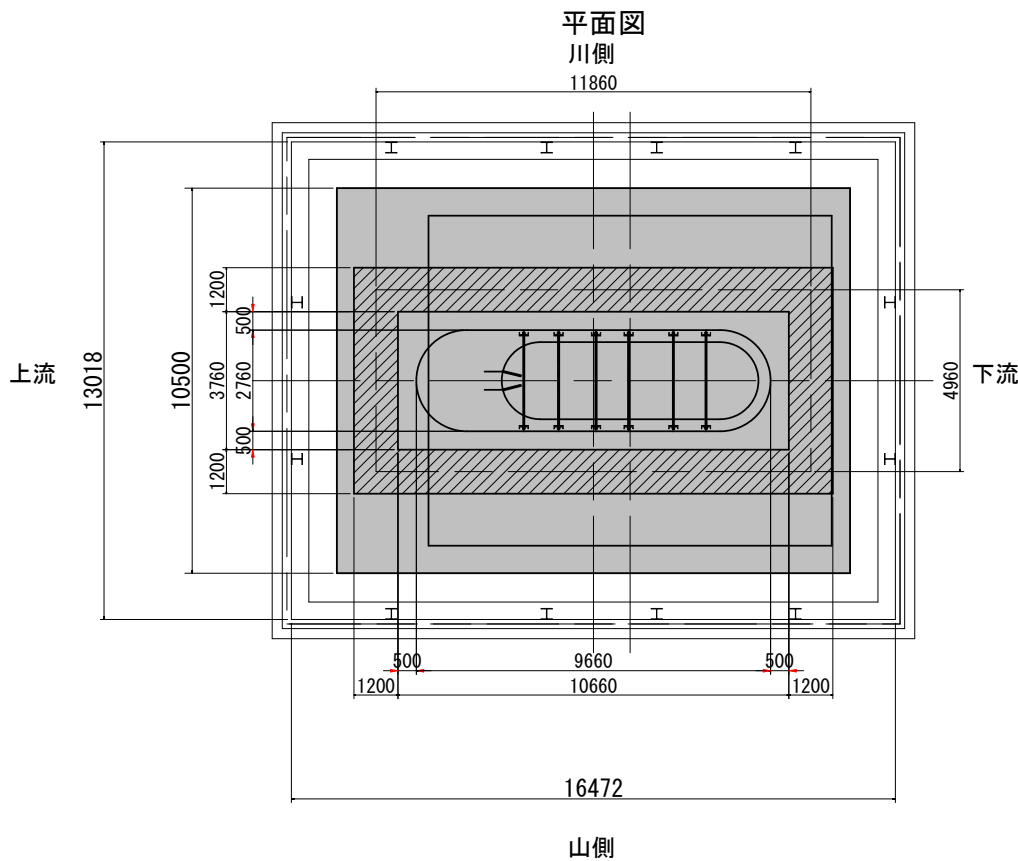
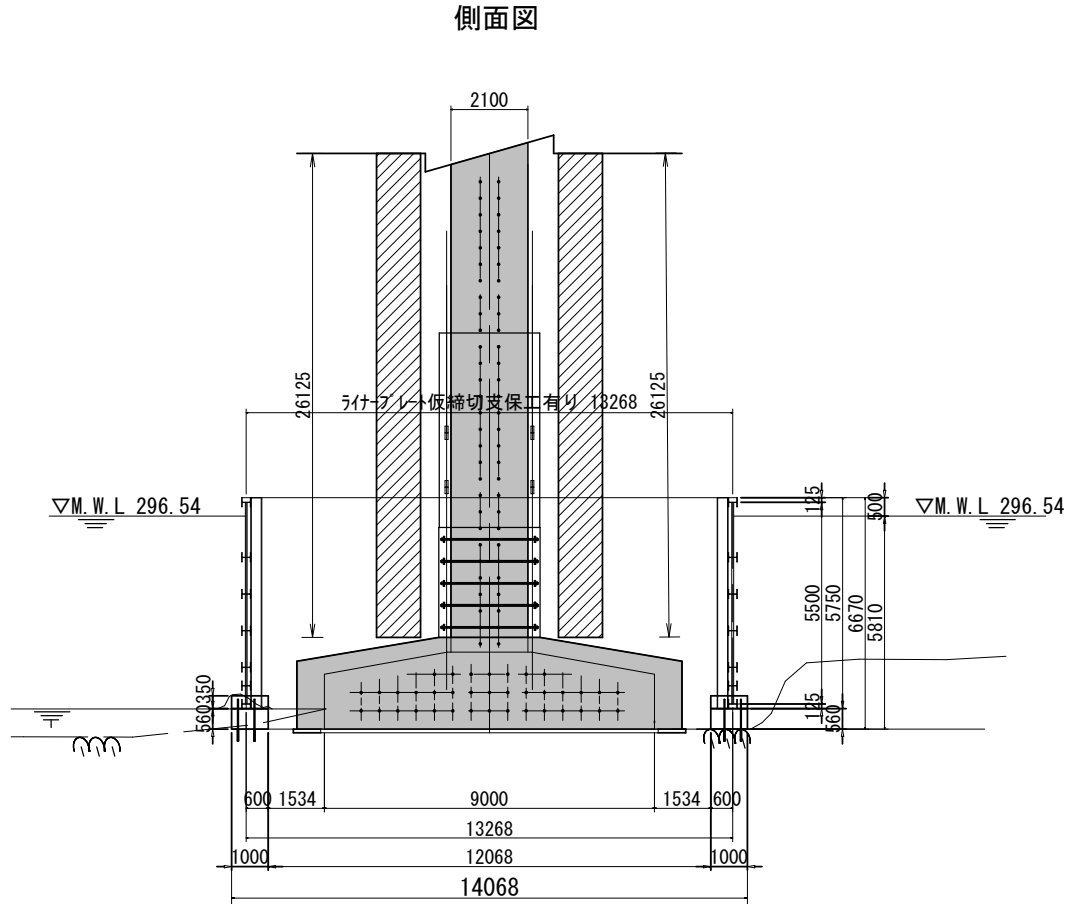
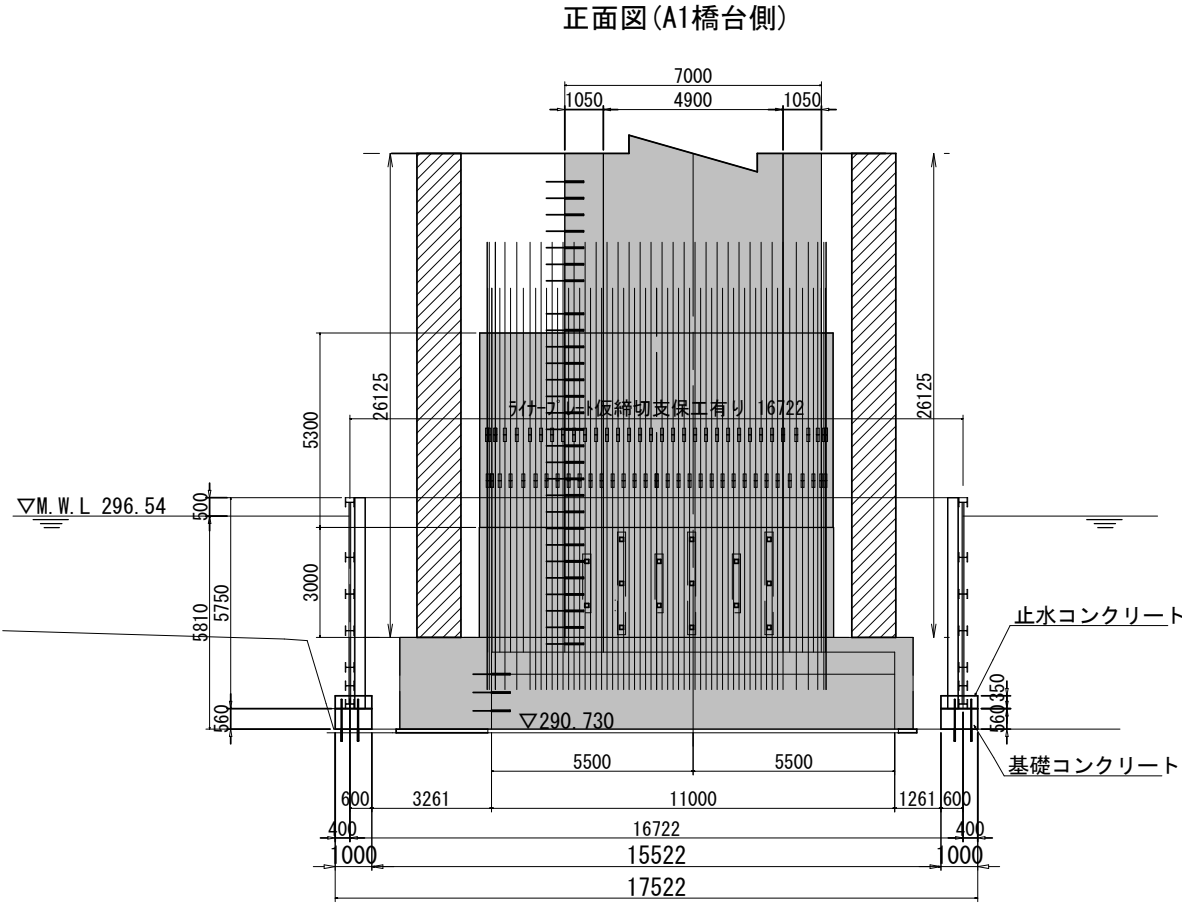
川側



【宮下橋】			
工事名	市道戦上下和田線（宮下橋）耐震補強工事		
図面名	P1橋脚 縦目アンカー足場詳細図		
作成年月日	令和 年 月		
縮尺	1:100	図面番号	16 / 22
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	大 月 市		

P1橋脚 躯体工足場詳細図

S=1:100



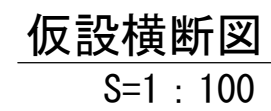
足場数量

$$A4 = (2 \times (11.860 + 4.960)) \times 26.125 = 878.8 \text{ 掛m2}$$

参考図

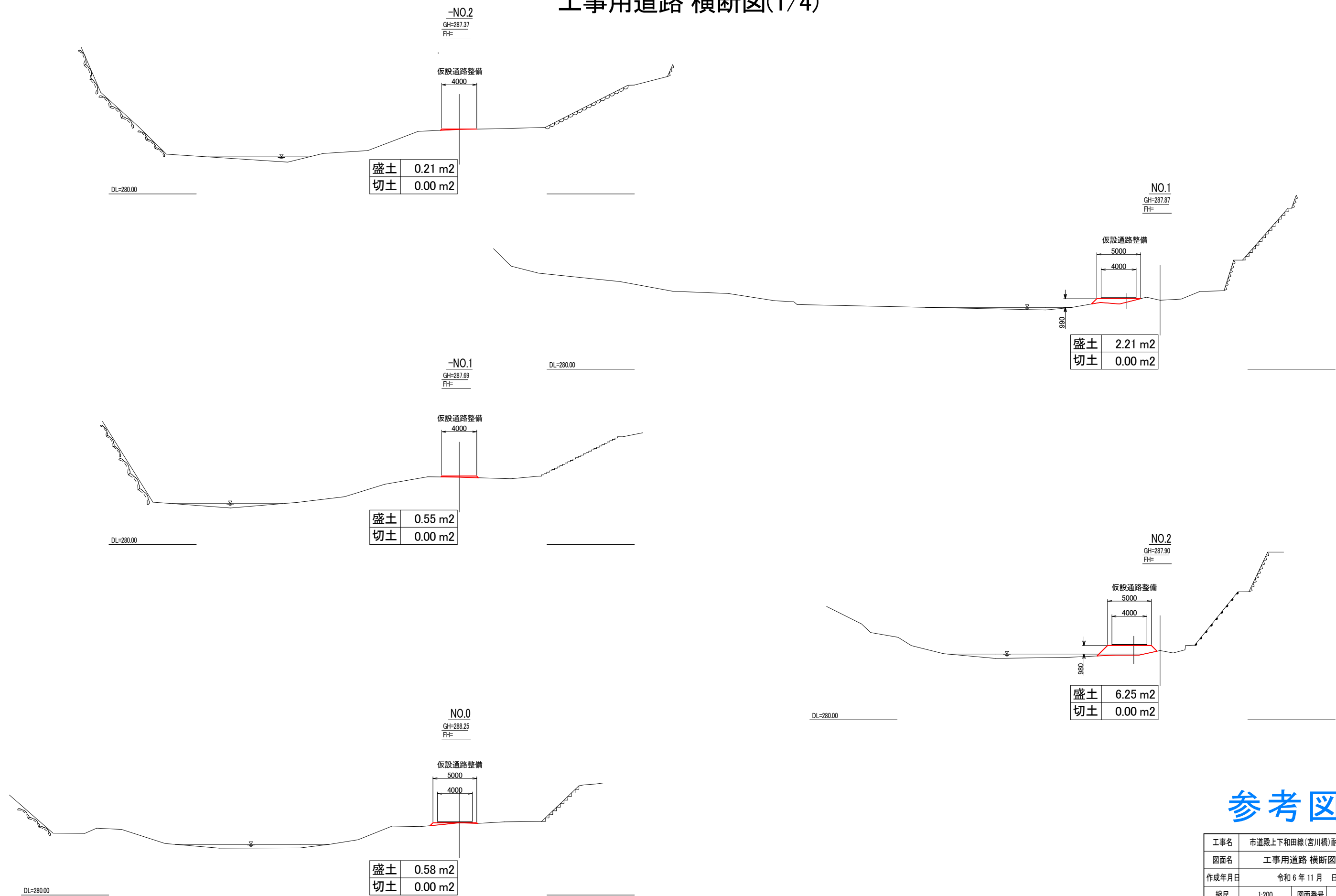
【宮下橋】			
工事名	市道殿上下和田線（宮下橋）耐震補強工事		
図面名	P1橋脚 鉄筋躯体工 足場図		
作成年月日	令和 年 月		
縮尺	図示	図面番号	17 / 22
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	大 月 市		

S=1 : 2000



工事名	市道殿上上下田線(宮下橋)耐震補強工事		
図面名	工事用道路 平面図		
作成年月日	令和 6 年 11 月		
縮尺	図 示	図面番号	18 / 22
会社名			
事業者名	大月市役所		

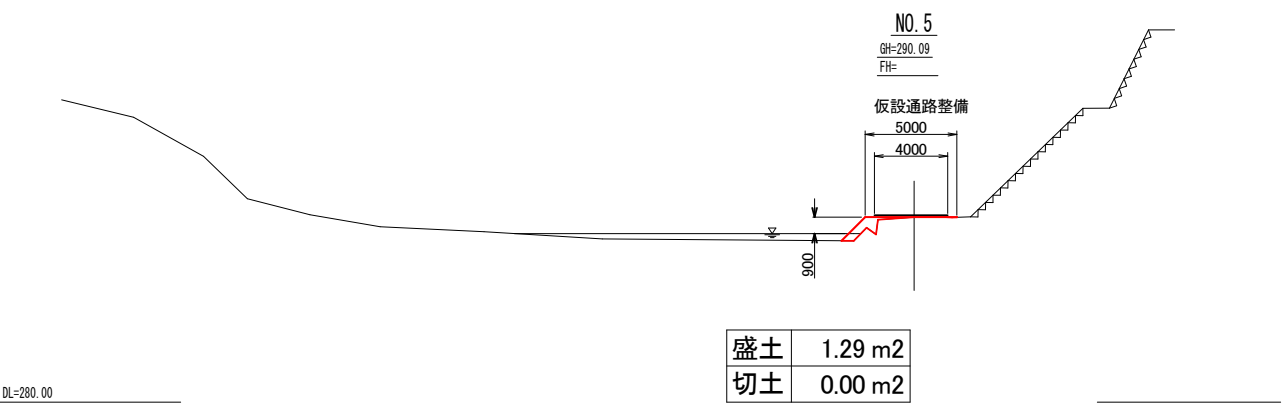
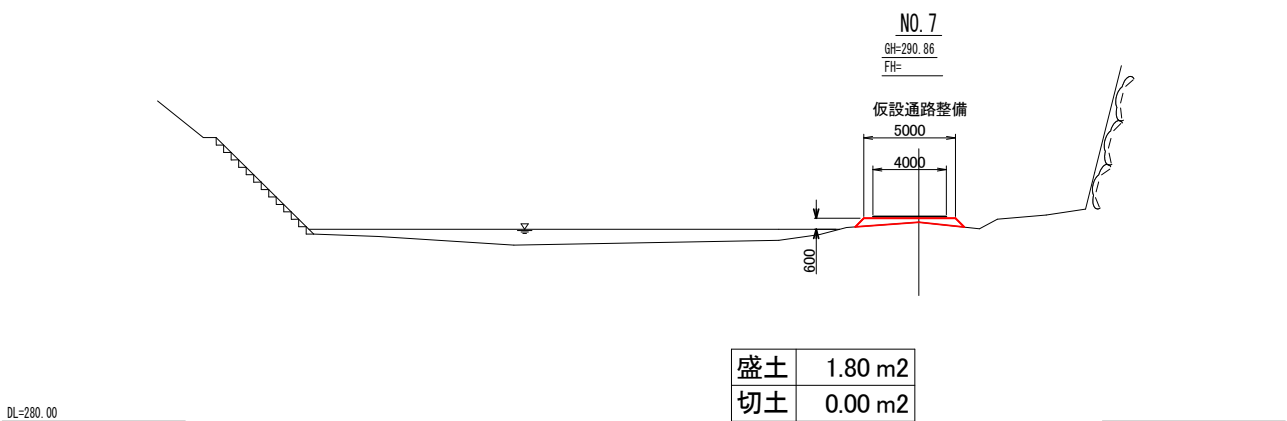
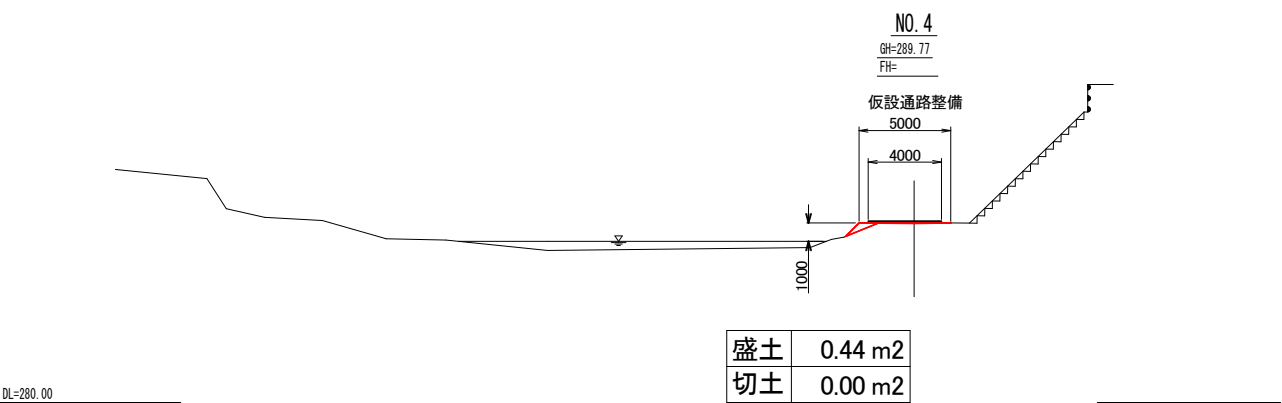
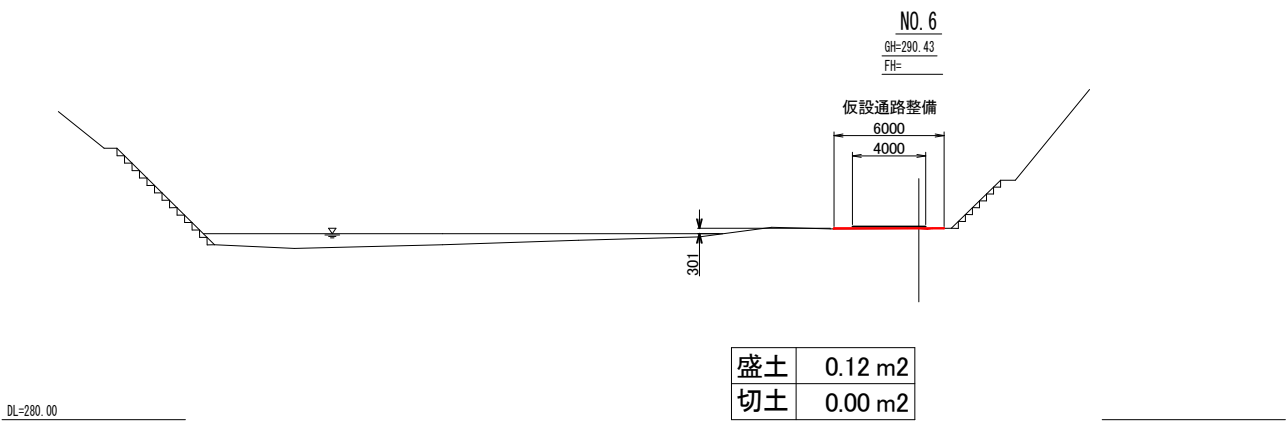
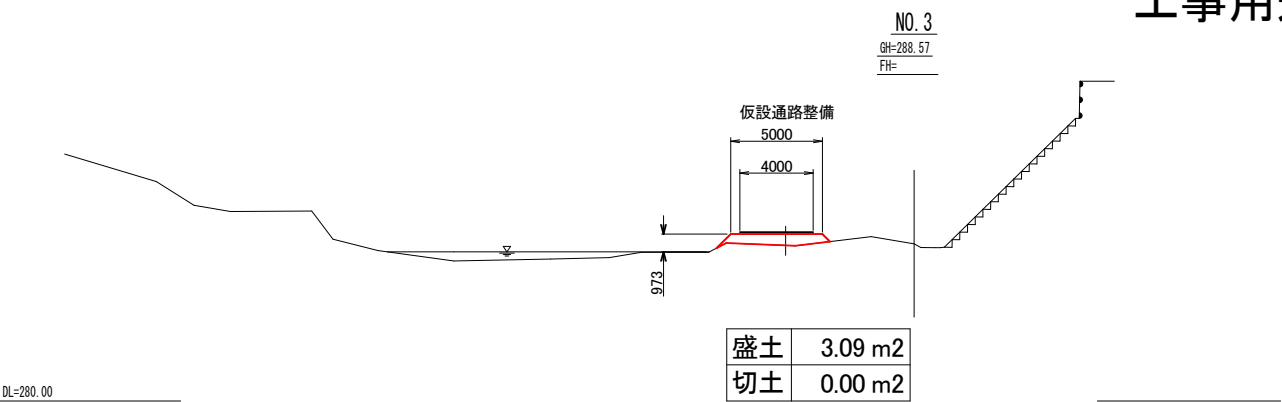
工事用道路 横断図(1/4)



参考図

工事名	市道殿上下和田線(宮川橋)耐震補強工事		
図面名	工事用道路 横断図(1/4)		
作成年月日	令和 6 年 11 月 日		
縮尺	1:200	図面番号	19 / 22
施工会社名	天野工業株式会社		
事業者名	大 月 市 役 所		

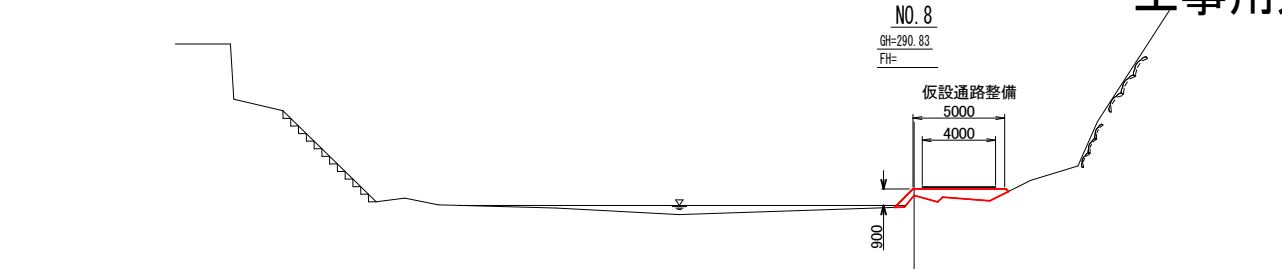
工事用道路 横断図 (2/4)



参考図

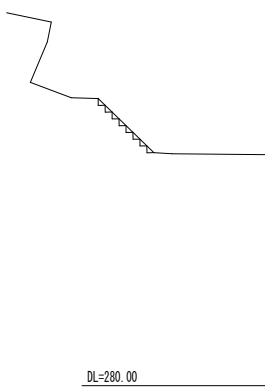
工事名	市道殿上下和田線（宮川橋）耐震補強工事		
図面名	工事用道路 横断図 (2/4)		
作成年月日	令和 6 年 11 月 日		
縮尺	1:200	図面番号	20 / 22
施工会社名	天野工業株式会社		
事業者名	大 月 市 役 所		

工事用道路 横断図(3/4)

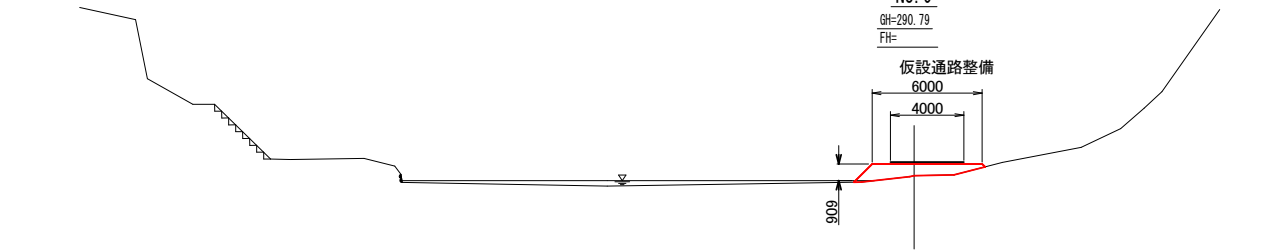


盛土	3.03 m2
切土	0.00 m2

DL=280.00

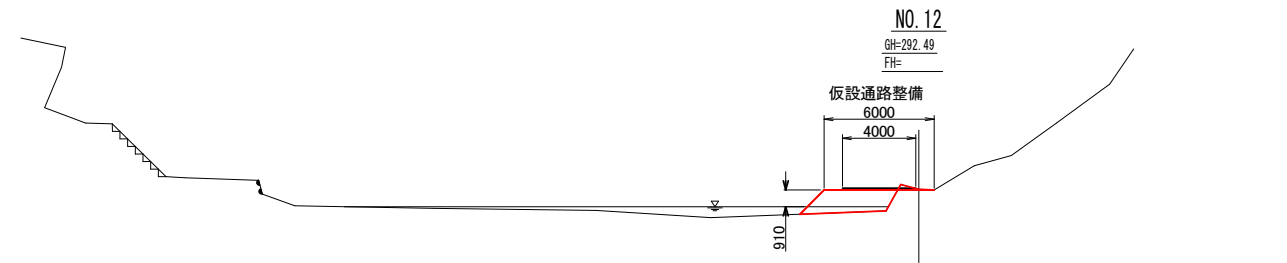


盛土	7.95 m2
切土	0.00 m2



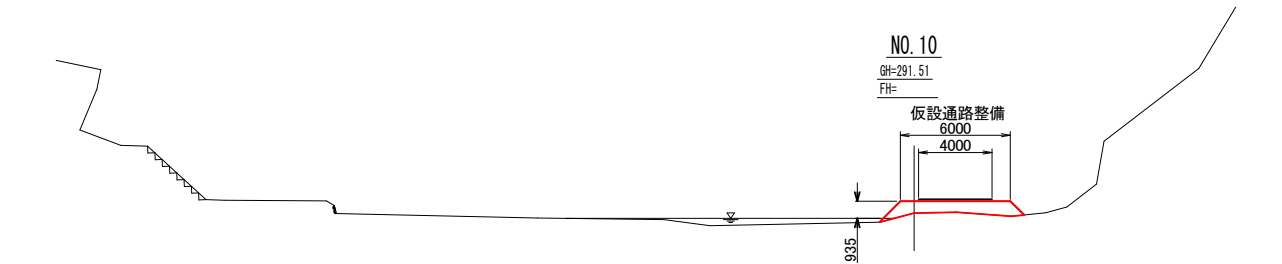
盛土	4.26 m2
切土	0.00 m2

DL=280.00



盛土	5.27 m2
切土	0.21 m2

DL=280.00



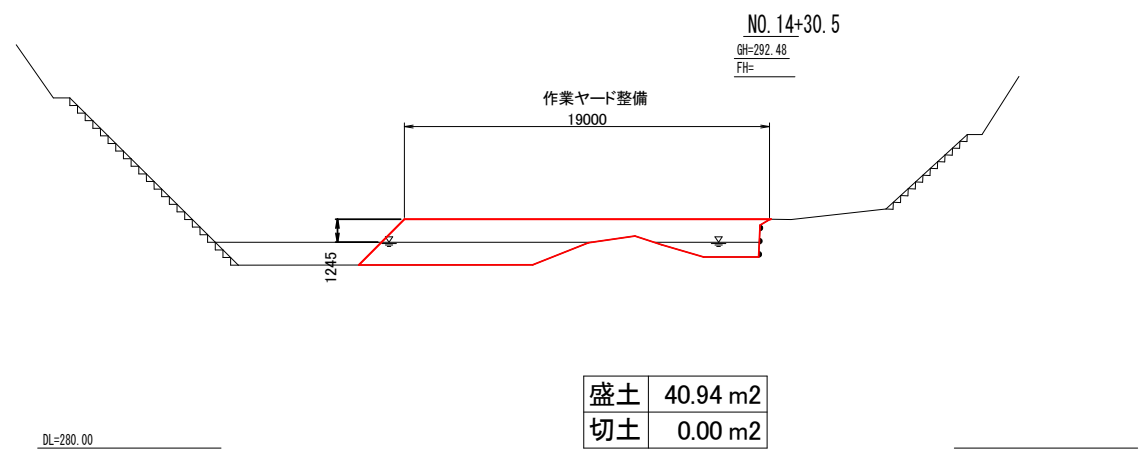
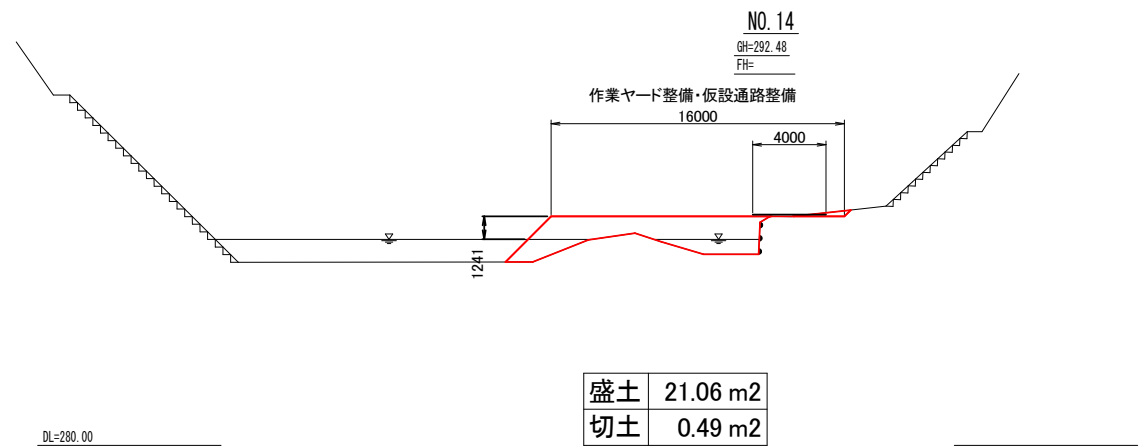
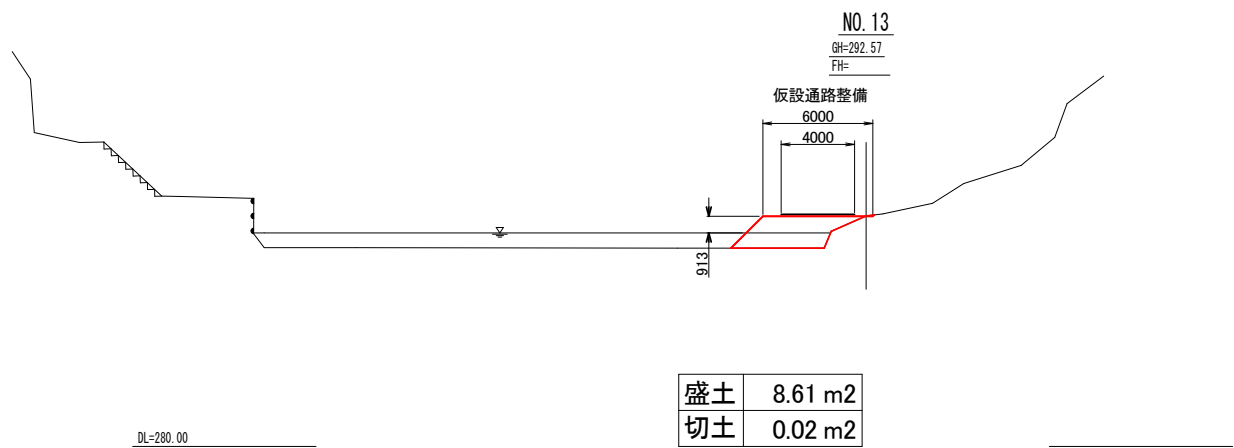
盛土	4.89 m2
切土	0.00 m2

DL=280.00

参考図

工事名	市道殿上下和田線（宮川橋）耐震補強工事		
図面名	工事用道路 横断図(3/4)		
作成年月日	令和 6 年 11 月 日		
縮尺	1:200	図面番号	21 / 22
施工会社名	天野工業株式会社		
事業者名	大 月 市 役 所		

工事用道路 横断図(4/4)



参考図

工事名	市道殿上下和田線（宮川橋）耐震補強工事		
図面名	工事用道路 横断図(4/4)		
作成年月日	令和 6 年 11 月 日		
縮尺	1:200	図面番号	22 / 22
施工会社名	天野工業株式会社		
事業者名	大 月 市 役 所		